

天一国語の学習メモ

有馬重信

天一国9年 天曆10月3日
陽曆2021年11月7日

この文書には、天一国語の文法の、基本中の基本を記述しています。
例文は、文法の解説を主目的として作成しましたので、実用的ではありません。
また、口頭での補足説明を前提として作成しましたので、この文書を読むだけでは理解しづらいかもしれません。
記述の誤りや古い部分が目に留まりましたら、申し訳ありませんが、より正確な情報を参考にしてください。

この文書は、中高生向けの学習用資料として産声を上げ、ご婦人向けにすくすくと成長しました。
これもひとえに、応援し、助言して下さった、数知れない方々のおかげです。心から感謝申し上げます。

天一国語の学習の難関は3つあると言われています。「文字と発音」「発音の変化」「用言の活用」です。
この文書で、これらの難関を突破して下されば、望外の喜びです。

この文書は、出典の記述や用語の定義など、公式な文書としての体裁がしっかりと整っていない、
メモのようなものですので、この文書のタイトルを「天一国語の学習メモ」とさせていただきました。

この文書が、天の父母様の夢、真の父母様の夢、人類の願いを果たす一助となれば、本望です。

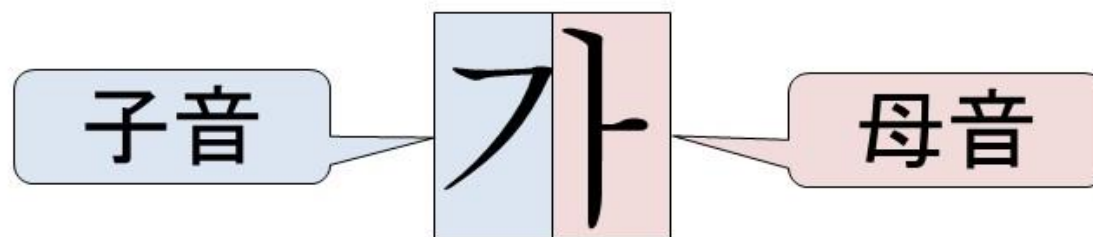
有馬重信

章	項目	ページ番号	章	項目	ページ番号
表紙		1	第3章 基本要素		
はじめに		2		3-1. <입니다 : ~です> <입니까 : ~ですか>	32
目次		3		3-2. <는 / 은 : ~は>	33
第1章 文字と発音	1-1. ハングル文字とは	4		3-3. <가 / 이 : ~が>	34
	1-2. 子音の成り立ち	5		3-4. <가 / 이 아닙니다 : ~ではありません>	35
	1-3. 母音の成り立ち	6		3-5. <있습니다 : あります・います> <없습니다 : ありません・いません>	36
	1-4. ハングル文字の構造	7		3-6. <의 : ~の> <도 : ~も> <만 : ~だけ>	37
	1-5. 基本母音字	8		3-7. <~을> <~に> <~で> <~から> <~まで> <~へ> <~と>	38
	1-6. 合成母音字	9		3-8. <이 : この> <그 : その> <저 : あの> <어느 : どの>	39
	1-7. 濃音	10		3-9. <이것 : これ> <그것 : それ> <저것 : あれ> <어느 것 : どれ>	40
	1-8. パッチム	11		3-10. <여기 : ここ> <저기 : そこ> <저기 : あそこ> <어디 : どこ>	41
	1-9. 発音のコツ1	12		3-11. <무엇 : 何> <누구 : 誰> <언제 : いつ> <왜 : なぜ> <어떻게 : どのように>	42
	1-10. 発音のコツ2	13		3-12. <무슨 : 何の> <몇 : いくつの> <얼마 : いくら> <曜日> <数>	43
	1-11. 発音のコツ3	14		3-13. <합니다 / 습니다 : ~です・ます> <하니까 / 습니까 : ~ですか・ますか>	44
	1-12. 発音のコツ4	15		3-14. <語幹の <~です・ます> <~ですか・ますか>	45
	1-13. 文字の名称	16		3-15. <지 않습니다 : ~ないです・しません> <지 못합니다 : ~できません>	46
第2章 発音の変化	2-0. はじめに	17		3-16. <예요 / 이에요 : ~です・ですか>	47
	2-1. 有声音化 (ゆうせいおんか)	18	3-17. <가 / 이 아니예요 : ~ではありません・ではありませんか>	48	
	2-2. 連音化 (れんおんか)	19			
	2-3. 濃音化 (のうおんか)	20	第4章 用言の活用	49 ~ 81	
	2-4. 鼻音化 (びおんか)	21	第5章 基本表現	5-1. <Ⅲ-요 : ~です・ます / ~ですか・ますか / ~してください / ~しましょう>	82
	2-5. 激音化 (げきおんか)	22		5-2. <Ⅰ-지 않아요 : ~ないです(か)・しません(か)> <Ⅰ-지 못해요 : ~できません(か)>	83
	2-6. 流音化 (りゅうおんか)	23		5-3. <Ⅲ-습니다 : ~たです・ました> <Ⅲ-습니까 : ~たですか・ましたか>	84
	2-7. 口蓋音化 (こうがいおんか)	24		5-4. <~なかったです・しませんでした> <~できませんでした>	85
	2-8. ㄴの挿入	25		5-5. <Ⅲ-ㅂ어요 : ~たです・ました / ~たですか・ましたか>	86
	2-9. その他	26		5-6. <~なかったです・しませんでした> <~できませんでした> (해요体)	87
2-10. 発音変化の例	27 ~ 31	5-7. <用言の連体形>		88 ~ 93	
		5-8. <尊敬形>		94	
		5-9. <Ⅰ-ㄹ- : 意志オプション>		95	
		5-10. <한단체>		96 ~ 98	
		第6章 用語集	99		
		おわりに	100		

1-1. ハングル文字とは

★ハングル文字とは？

→ 子音と母音の組み合わせで出来ている
(子音と母音を組み合わせで読む)



[k]+[a]=[ka(カ)]

1-2. 子音の成り立ち

★子音の成り立ち(発声器官の形に似せて作られた)



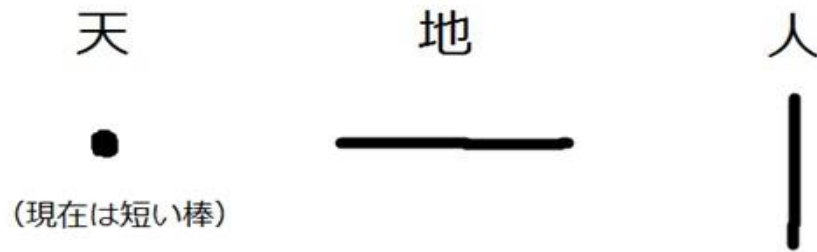
※より強い音には一画を加える

- ・牙音(がおん) : ㄱ → ㅋ
- ・舌音(ぜつおん) : ㄴ → ㄷ → ㅌ
- ・歯音(しおん) : ㄹ → ㄺ → ㅃ
- ・唇音(しんおん) : ㅍ → ㅍ → ㅍ
- ・喉音(こうおん) : ㅇ → ㅇ
- ・半舌音(はんぜつおん) : ㄹ

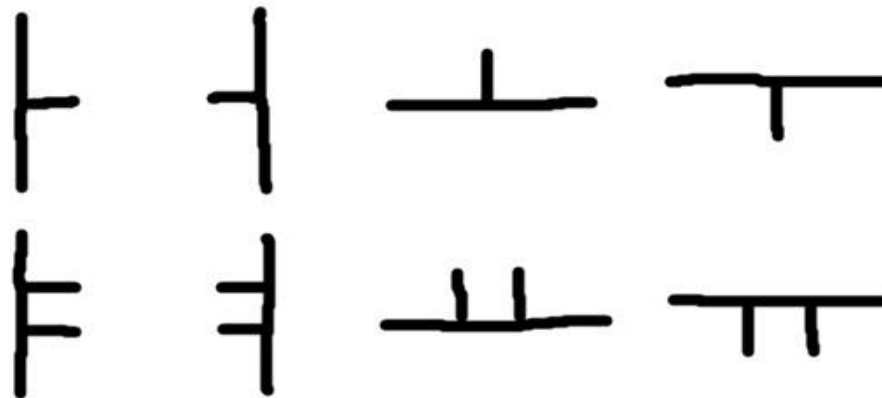


1-3. 母音の成り立ち

★母音の成り立ち(天地人の組み合わせ)



組み合わせ例

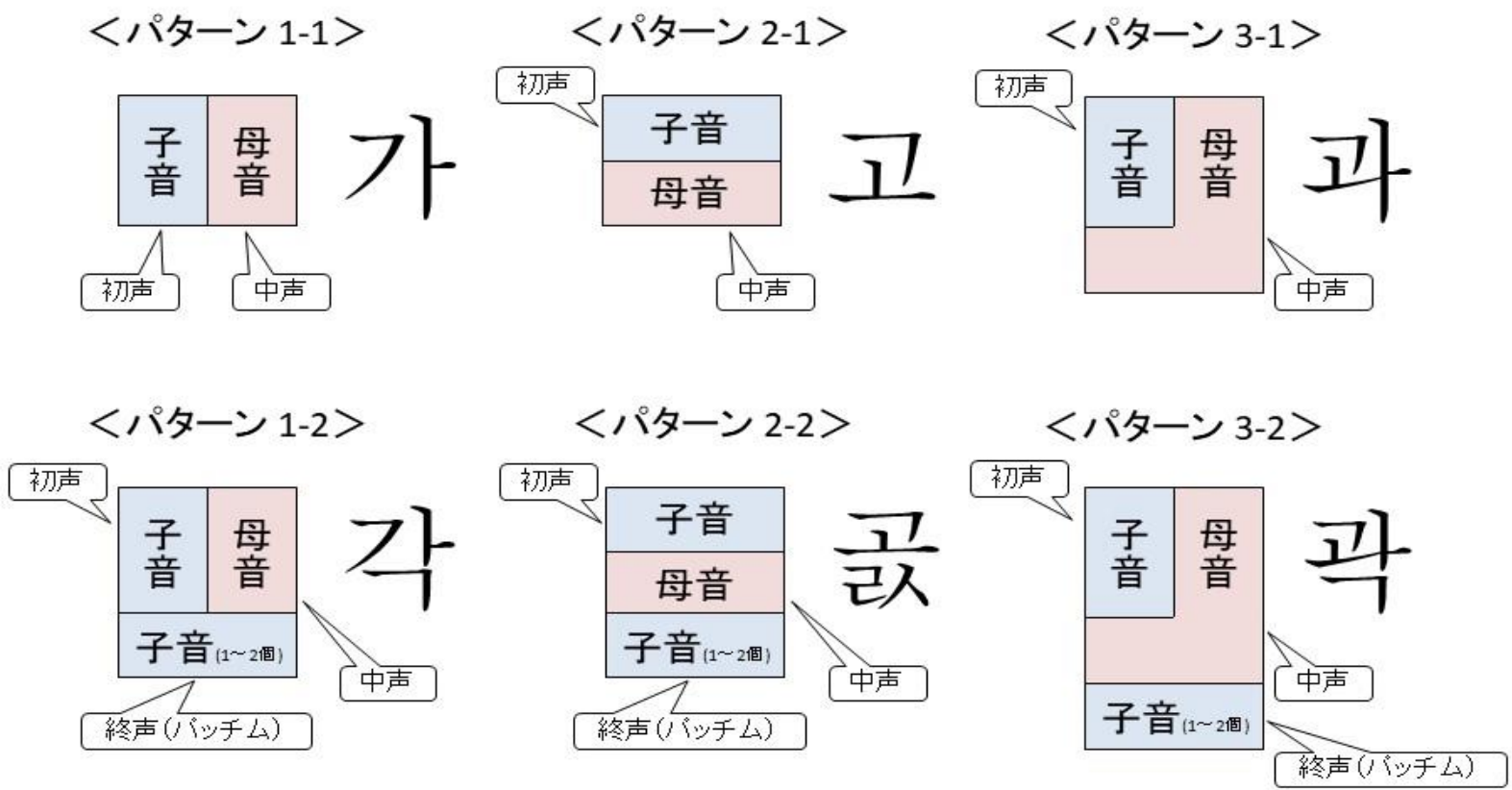


※短い棒を一画加えた文字は頭にy音を付けて読む

- ・ト(ア) → ト(ヤ)
- ・ト(オ) → ト(ヨ)
- ・ト(ウ) → ト(ユ)

1-4. ハングル文字の構造

★ハングル文字の構造



第1章 文字と発音 1-5. 基本母音字

子音 (しいん)	母音 (ぼいん)									
	ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
	ア	ヤ	アのちでオ	ヤのちでヨ	つきだしたちでオ	つきだしたちでヨ	つきだしたちでウ	つきだしたちでユ	よこにひいたちでウ	イ
ㄱ	가	가	거	겨	고	교	구	규	그	기
	カ	キャ	コ	キョ	コ	キョ	ク	キュ	ク	キ
ㄴ	나	냐	너	녀	노	뇨	누	뉴	느	니
	ナ	ニヤ	ノ	ニョ	ノ	ニョ	ヌ	ニユ	ヌ	ニ
ㄷ	다	다	더	더	도	도	두	듀	드	디
	タ	ティヤ	ト	ティョ	ト	ティョ	トゥ	ティユ	トゥ	ティ
ㄹ	라	랴	러	려	로	료	루	류	르	리
	ラ	リヤ	ロ	リョ	ロ	リョ	ル	リュ	ル	リ
ㅁ	마	먀	머	며	모	묘	무	뮤	므	미
	マ	ミヤ	モ	ミョ	モ	ミョ	ム	ミュ	ム	ミ
ㅂ	바	바	버	벼	보	보	부	뷰	브	비
	パ	ピヤ	ポ	ピョ	ポ	ピョ	プ	ピュ	プ	ピ
ㅅ	사	샤	서	셔	소	쇼	수	슈	스	시
	サ	シャ	ソ	ショ	ソ	ショ	ス	シュ	ス	シ
ㅇ	아	야	어	여	오	요	우	유	으	이
	ア	ヤ	オ	ヨ	オ	ヨ	ウ	ユ	ウ	イ
ㅈ	자	자	저	져	조	죠	주	쥬	즈	지
	チャ	チャ	チョ	チョ	チョ	チョ	チュ	チュ	チュ	チ
ㅊ	차	차	처	쳐	초	초	추	츄	츠	치
いきをつよくだす	チャ	チャ	チョ	チョ	チョ	チョ	チュ	チュ	チュ	チ
ㅋ	카	카	커	켜	코	교	쿠	큐	크	키
いきをつよくだす	カ	キャ	コ	キョ	コ	キョ	ク	キュ	ク	キ
ㅌ	타	타	터	터	토	토	투	투	트	티
いきをつよくだす	タ	ティヤ	ト	ティョ	ト	ティョ	トゥ	ティユ	トゥ	ティ
ㅍ	파	파	퍼	펴	포	표	푸	퓨	프	피
いきをつよくだす	パ	ピヤ	ポ	ピョ	ポ	ピョ	プ	ピュ	プ	ピ
ㅎ	하	하	허	혀	호	효	후	휴	흐	히
いきをつよくだす	ハ	ヒヤ	ホ	ヒョ	ホ	ヒョ	フ	ヒュ	フ	ヒ

第1章 文字と発音 1-6. 合成母音字

子音 (しいん)	母音 (ぼいん)										
	ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅚ
	おおきめのくちでエ	おおきめのくちでイエ	エ	イエ	つきだしたくちからワ	つきだしたくちからウエ	つきだしたくちからウエ	つきだしたくちからウオ	つきだしたくちからウエ	つきだしたくちからウィ	よこにひいたくちでウィ
ㄱ	개	개	게	게	과	괘	괴	귀	괘	귀	괴
	ケ	キエ	ケ	キエ	クワ	クエ	クエ	クオ	クエ	クイ	クイ
ㄴ	내	내	네	네	나	내	뇌	뉴	내	뇌	뇌
	ネ	ニエ	ネ	ニエ	ヌワ	ヌエ	ヌエ	ヌオ	ヌエ	ヌイ	ヌイ
ㄷ	대	대	테	테	다	दै	되	뒤	दै	뒤	뒤
	テ	テイエ	テ	テイエ	トウワ	トウエ	トウエ	トウオ	トウエ	トウイ	トウイ
ㄹ	래	래	레	레	라	래	리	뤼	뤼	뤼	리
	レ	リエ	レ	リエ	ルワ	ルエ	ルエ	ルオ	ルエ	ルイ	ルイ
ㅁ	매	매	메	메	마	매	미	뮌	뮌	뮌	미
	メ	ミエ	メ	ミエ	ムワ	ムエ	ムエ	ムオ	ムエ	ムイ	ムイ
ㅂ	배	배	베	베	바	배	브	뵤	뵤	뵤	브
	ベ	ビエ	ベ	ビエ	ブワ	ブエ	ブエ	ブオ	ブエ	ブイ	ブイ
ㅅ	새	새	세	세	사	쇄	쇠	쉬	쇄	쉬	시
	セ	シェ	セ	シェ	スワ	スエ	スエ	スオ	スエ	シユイ	シユイ
ㅇ	애	애	에	예	와	왜	외	위	웨	위	의
	エ	イエ	エ	イエ	ワ	ウエ	ウエ	ウオ	ウエ	ウイ	ウイ
ㅈ	재	재	제	제	좌	채	죄	쥬	쥬	쥬	직
	チェ	チェ	チェ	チェ	チュワ	チュエ	チュエ	チュオ	チュエ	チュイ	チュイ
ㅊ	채	채	체	체	좌	채	최	쥬	쥬	쥬	직
いきをつよくだす	チェ	チェ	チェ	チェ	チュワ	チュエ	チュエ	チュオ	チュエ	チュイ	チュイ
ㅋ	개	개	케	케	과	괘	괴	귀	괘	귀	괴
いきをつよくだす	ケ	キエ	ケ	キエ	クワ	クエ	クエ	クオ	クエ	クイ	クイ
ㅌ	태	태	테	테	타	태	퇴	튀	दै	튀	퇴
いきをつよくだす	テ	テイエ	テ	テイエ	トウワ	トウエ	トウエ	トウオ	トウエ	トウイ	トウイ
ㅍ	패	패	페	페	파	패	피	퓌	뵤	퓌	피
いきをつよくだす	ペ	ビエ	ペ	ビエ	プワ	ブエ	ブエ	ブオ	ブエ	ブイ	ブイ
ㅎ	해	해	헤	헤	화	회	회	휘	웨	휘	회
いきをつよくだす	ヘ	ヒエ	ヘ	ヒエ	フワ	フエ	フエ	フオ	フエ	フィ	フィ

第1章 文字と発音 1-7. 濃音

★濃音(のうおん)の発音 - 息を出さない

ㄱ : まずは「ワッカ」と trying。次に「ワッカ」と言うつもりで、「カ」だけを、喉を閉じて息を出さずに高く強く言う。

ㄷ : まずは「バッタ」と trying。次に「バッタ」と言うつもりで、「タ」だけを、喉を閉じて息を出さずに高く強く言う。

ㅃ : まずは「ハツパ」と trying。次に「ハツパ」と言うつもりで、「パ」だけを、喉を閉じて息を出さずに高く強く言う。

ㅅ : まずは「キッサ」と trying。次に「キッサ」と言うつもりで、「サ」だけを、喉を閉じて息を出さずに高く強く言う。

ㅆ : まずは「マツチャ」と trying。次に「マツチャ」と言うつもりで、「チャ」だけを、喉を閉じて息を出さずに高く強く言う。

子音 (しいん)	母音 (ほいん)									
	ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ
	アのくちでオ									
	ヤのくちでヨ									
	つきだしたくちでオ									
	つきだしたくちでヨ									
	つきだしたくちでウ									
	つきだしたくちでユ									
	よこにひいたくちでウ									
	イ									
ㄱ	ㄱ	ㄲ	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㅁ	ㅂ	ㅅ	ㅇ	ㅈ
いきをださない	カ	キャ	コ	キョ	ク	キュ	ク	キュ	ク	キ
ㄷ	ㄷ	ㄸ	ㄹ	ㄷ	ㄹ	ㅁ	ㅂ	ㅅ	ㅇ	ㅈ
いきをださない	タ	ティヤ	ト	ティヨ	ト	ティヨ	トゥ	ティユ	トゥ	ティ
ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ
いきをださない	パ	ピヤ	ポ	ピョ	ポ	ピョ	プ	ピユ	プ	ピ
ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ
いきをださない	サ	シャ	ソ	シヨ	ソ	シヨ	ス	シュ	ス	シ
ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ
いきをださない	チャ	チャ	チョ	チョ	チュ	チュ	チュ	チュ	チュ	チ

子音 (しいん)	母音 (ほいん)										
	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	ㅓ	ㅕ	ㅗ
	おおきめのくちでエ										
	おおきめのくちでイエ										
	エ										
	イエ										
	つきだしたくちからワ										
	つきだしたくちからウエ										
	つきだしたくちからウエ										
	つきだしたくちからウオ										
	つきだしたくちからウエ										
	つきだしたくちからウイ										
	よこにひいたくちでウイ										
ㄱ	ㄱ	ㄲ	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㅁ	ㅂ	ㅅ	ㅇ	ㅈ	ㅊ
いきをださない	ケ	キエ	ケ	キエ	クワ	クエ	クエ	クオ	クエ	クイ	クイ
ㄷ	ㄷ	ㄸ	ㄹ	ㄷ	ㄹ	ㅁ	ㅂ	ㅅ	ㅇ	ㅈ	ㅊ
いきをださない	テ	ティエ	テ	ティエ	トゥワ	トゥエ	トゥエ	トゥオ	トゥエ	トゥイ	トゥイ
ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ	ㅃ
いきをださない	ペ	ピエ	ペ	ピエ	プワ	プエ	プエ	プオ	プエ	プイ	プイ
ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ
いきをださない	セ	シエ	セ	シエ	スワ	スエ	スエ	سو	スエ	シユイ	シユイ
ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ	ㅆ
いきをださない	チェ	チェ	チェ	チェ	チュワ	チュエ	チュエ	チュオ	チュエ	チュイ	チュイ

★パッチムの文字と発音

パッチムの文字	発音記号 ↓	パッチムの発音
ㄱ ㅋ ㆁ ㆁ ㄹ	[ㄱ]	「각」を発音する場合、まずは「カッコ」と trying。次に「カッコ」と言うつもりで、「コ」は言わない。口を開ける。舌の後方から付け根の部分を上顎に強く押し付ける。息を出さない。
ㅇ	[ㅇ]	「강」を発音する場合、まずは「カンゴ」と trying。次に「カンゴ」と言うつもりで、「ゴ」は言わない。口を開ける。舌の後方から付け根の部分を上顎に強く押し付ける。鼻から息を出す。
ㄷ ㅌ ㅅ ㅆ ㅇ ㅎ ㅈ	[ㄷ]	「간」を発音する場合、まずは「カッ」と trying。次に「カッ」と言うつもりで、「ト」は言わない。口を開ける。舌を上の前歯の裏に付ける(発音練習の際は、舌を強く押し当てる)。息を出さない。
ㄴ ㄹ ㄷ	[ㄴ]	「간」を発音する場合、まずは「カンナ」と trying。次に「カンナ」と言うつもりで、「ナ」は言わない。口を開ける。舌を上の前歯の裏に付ける(発音練習の際は、上の前歯から舌の先が見えるぐらいに舌を上の前歯の裏にベッタリと強く押し当てる)。鼻から息を出す。
ㄹ ㄹ ㄷ ㄷ ㄷ	[ㄹ]	「갈」を発音する場合、まずは「カッラ」と trying。次に「カッラ」と言うつもりで、「ラ」は言わない。口を開ける。舌を上の前歯の裏に付ける(発音練習の際は、舌を強く押し当てる)。口から息を出す。
ㅂ ㅃ ㅅ ㅆ ㅈ (ㅈ다 だけ)	[ㅂ]	「갑」を発音する場合、まずは「カッ」と trying。次に「カッ」と言うつもりで、「プ」は言わない。唇を閉じる(発音練習の際は、唇を強く閉じる)。息を出さない。
ㅁ ㅂ	[ㅁ]	「감」を発音する場合、まずは「カンブ」と trying。次に「カンブ」と言うつもりで、「ブ」は言わない。唇を閉じる(発音練習の際は、唇を強く閉じる)。鼻から息を出す。

パッチムの発音	パッチムが付いている文字										
[ㄱ]	각	책	곽	억	읍	꺾	볶	넛	몫	읽	꺾
[ㅇ]	강	상	빵	장	성	경	병	공	동	행	왕
[ㄷ]	간	편	갈	밭	못	옛	맛	늦	빛	종	있
[ㄴ]	간	맨	본	편	완	원	앞	없	꿍	많	않
[ㄹ]	갈	딸	월	활	굴	활	훈	않	싫	덥	넓다
[ㅂ]	갑	합	씹	춌	앞	옆	높	값	없	웁	뵤다
[ㅁ]	감	남	름	밤	검	엠	참	힘	젊	답	굶

★発音のコツ

①母音

- **↑** (アの口でオ)と **┘** (突き出した口でオ)のメリハリ
- **┘** (突き出した口でウ)と **—** (横に引いた口でウ)のメリハリ

②平音

- **カ**: [カ]と[ガ]の中間の音。やわらかい(弱い・低めの)[カ]。
 - **タ**: [タ]と[ダ]の中間の音。やわらかい(弱い・低めの)[タ]。
 - **パ**: [パ]と[バ]の中間の音。やわらかい(弱い・低めの)[パ]。
 - **サ**: [チャ]と[ジャ]の中間の音。やわらかい(弱い・低めの)[チャ]。
-

★発音のコツ

③激音

- 카 : 息を強く出して[カハ]。
- 타 : 息を強く出して[タハ]。
- 파 : 息を強く出して[パハ]。
- 차 : 息を強く出して[チャハ]。
- 하 : 息を強く出して[ハ]。

★発音のコツ

④合成母音

- ・ **ㅑ, ㅕ, ㅗ, ㅛ, ㅜ, ㅠ, ㅡ** は
左側の母音と右側の母音を続けて読む。
- ・ **ㅟ** は ウェ と読む。(昔は オィ と読んだ。)
- ・ 一拍で一気に発音する。

1-12. 発音のコツ4

★発音のコツ

⑤濃音

- ・息を出さない。
- ・高く、強く発音する。

⑥パッチム

- ・発声器官(舌、唇、喉など)を基本に忠実に動かす。
(発音の変化をマスターするためにも。)
-

1-13. 文字の名称

★文字の名称

①子音の名称

※母音の名称は発音と同じ(例:母音「ㅏ」の名称は「아」)。

子音	ㄱ	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㅁ	ㅂ	ㅅ
名称	기역	니은	디귄	리을	미음	비읍	시옷
発音	[기역]	[니은]	[디귄]	[리을]	[미음]	[비읍]	[시읏]

子音	ㅇ	ㅈ	ㅊ	ㅋ	ㅌ	ㅍ	ㅎ
名称	이응	지읏	치읓	키읃	티읃	피읃	히읃
発音	[이응]	[지읃]	[치읃]	[키읃]	[티읃]	[피읃]	[히읃]

子音	ㄱㅈ	ㄷㅈ	ㅂㅂ	ㅅㅅ	ㅈㅈ
名称	쌍기역	쌍디귄	쌍비읍	쌍시옷	쌍지읏
発音	[쌍기역]	[쌍디귄]	[쌍비읍]	[쌍시읏]	[쌍지읃]

2-0. はじめに ※[]の中は発音。

★発音の変化の種類

- 2-1. 有声音化 (ゆうせいおんか)
- 2-2. 連音化 (れんおんか)
- 2-3. 濃音化 (のうおんか)
- 2-4. 鼻音化 (びおんか)
- 2-5. 激音化 (げきおんか)
- 2-6. 流音化 (りゅうおんか)
- 2-7. 口蓋音化 (こうがいおんか)
- 2-8. ㄴの挿入
- 2-9. その他

★濃音化、鼻音化、激音化、流音化の変化の流れ

	牙音・喉音	舌音	唇音	歯音	
	[ㄱ]	[ㄷ]	[ㅂ]	[ㅈ]	[ㅊ]
濃音化	[ㄱ]	[ㄷ]	[ㅂ]	[ㅈ]	[ㅊ]
鼻音化	[ㅇ]	[ㄴ]	[ㅇ]		
激音化	[ㅋ]	[ㅌ]	[ㅍ]	[ㅊ]	
流音化		[ㄹ]			

※濃音化: 息を出さない。鼻音化: 鼻から息を出す。激音化: 息を強く出す。

★発音が変化する箇所: 前の文字のパッチムと次の文字の組み合わせで発音の変化が起こる。

①連音化の例

몸이
[모미]

②濃音化の例


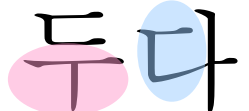
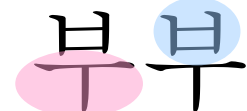
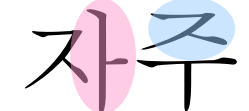




학교
[학교]

③鼻音化の例

국력
[궁녁]

④激音化の例

추하
[추카]

2-1. 有声音化 (ゆうせいおんか) ※[]の中は発音。/A, B, C/ は、A か B か C の、いずれかであることを示す。			
①母音 + ㄱ  [コギ]	②母音 + ㄷ  [トウダ]	③母音 + ㅂ  [プブ]	ㄷ + ㅈ  [チャジュ]
⑤ㄴ + /ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅈ/  [バンド]	⑥ㄹ + /ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅈ/  [ナムジャ]		
⑦ㄷ + /ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅈ/  [タルギ]	⑧ㅇ + /ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅈ/  [コンブ]		

2-2. 連音化 (れんおんか) ※[]の中は発音。		
①パッチム + ㅇ	※1: ㅇ + ㅇ → 連音化しない	※2: ㅎ + ㅇ → ㅎは発音しない
몸이 [모미]	공은 [공은]	좋은 [조은]
②二重パッチム + ㅇ	※3: 二重パッチム(右パッチムㅎ) + ㅇ → ㅎは発音しない	
달이 [달기]	마는 [마는]	
③単語間の連音化	④合成語の連音化	
이위 [이뷔]	헛웃음 [허두슴]	

2-3. 濃音化 (のうおんか) ※[]の中は発音。/A, B, C/ は、A か B か C の、いずれかであることを示す。

① / [ㄱ], [ㄷ], [ㅂ] / + / ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅅ, ㅈ /

학교	닫다	낮잠	접시
[학교]	[닫따]	[낮잠]	[접씨]

② 子音語幹の用言 (/ [ㄴ], [ㄹ] / + / ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅅ, ㅈ /)

안고	남다	길가
[안꼬]	[남따]	[길까]

③ 合成語の濃音化


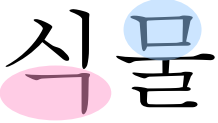
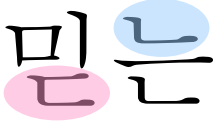
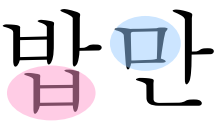
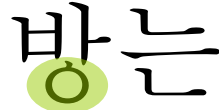

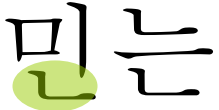

④ 漢字語の濃音化 (ㄹ + / ㄷ, ㅂ, ㅅ, ㅈ /)

발달	결정	열두
[발딸]	[결뎡]	[열똥]





⑤ 固有数詞の濃音化

2-4. 鼻音化 (びおんか) ※[]の中は発音。/A, B, C/ は、A か B か C の、いずれかであることを示す。

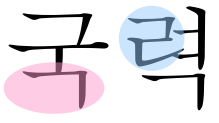


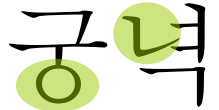


①口音の鼻音化 (/[ㄱ], [ㄷ], [ㅂ]/ + /ㄴ, ㄹ/)

			
[	[	[	[

②流音の鼻音化(鼻音+流音の場合) (/[ㅁ], [ㅇ]/ + ㄴ)

	
[	[

③流音の鼻音化(口音+流音の場合) (/[ㄱ], [ㄷ], [ㅂ]/ + ㄴ) ※流音が鼻音[ㄴ]に変わった後、口音の鼻音化

		
[	[	[

2-5. 激音化 (げきおんか) ※[] の中は発音。/A, B, C/ は、A か B か C の、いずれかであることを示す。

① / [ㄱ], [ㄷ], [ㅂ] / + ㅎ

축하

못하다

입학

[추카]

[모타다]

[이팍]

② / ㅎ, ㄴㅎ, ㄹㅎ / + ㄱ, ㄷ, ㅌ

종교

종다

만다

심지

[조코]

[조타]

[만타]

[실치]

※1: ㅎ関連の濃音化 (/ㅎ, ㄴㅎ, ㄹㅎ / + 入)

종습니다

만습니다

심습니다

[조쌌니다]

[만쌌니다]

[실쌌니다]

2-6. 流音化 (りゅうおんか) ※[]の中は発音。

①ㄴ + ㄹ

연락

원리

[연락]

[월리]

②ㄹ + ㄴ

칠년

달나라

[칠련]

[달라라]

※1: 漢字語のㄴ化

생산력

구인란

[생산녁]

[구인난]

2-7. 口蓋音化 (こうがいおんか) ※[] 中は発音。/A, B, C/ は、A か B か C の、いずれかであることを示す。

①ㄷ + 이

굳이 해돋이

[구지] [해도지]

②/ㄷ, ㄹㄷ/ + /이, 여/

같이 훑여요

[가치] [훑쳐요]

③ㄷ + /히, 혀/

닫히다 닫혀요

[다치다] [다쳐요]

2-8. ㄴの挿入 ※[]の中は発音。/A, B, C/ は、A か B か C の、いずれかであることを示す。

①パッチムで終わる単語 + /야, 여, 요, 유, 이/ で始まる単語

문 열

[문 념]

짐 열

[짐 념]

맹장염

[맹장 념]

②ㄴの挿入後、鼻音化する場合

백육

[백 뇝]

옛이야기

[연 니야기]

십육

[십 뇝]

③ㄴの挿入後、流音化する場合

물약

[물 락]

할 일

[할 린]

서울역

[서울 렉]

2-9. その他 ※[]の中は発音。/A, B, C/ は、AかBかCの、いずれかであることを示す。

①ㅎの弱音化・無音化 (/ㄴ, ㄹ, ㅇ / + ㅎ)

전화 입학하다 일하다 안녕히
 [저^ㄴ와] [이^ㄹ마다] [이^ㄹ라다] [안녕^ㅇ이]

②未来連体形に関連する濃音化 (ㅍ-ㄹ + /ㄱ, ㄷ, ㅂ, ㅅ /)

할 것이다 할지도 모르다
 [할^ㄱ꺼시다] [할^ㄷ찌도모르다]

③것(거)(~のモノ)の濃音化

내 거
 [내^ㄱ꺼]

④「동안」(間)の濃音化

사흘 동안
 [사흘^ㄷ똥안]

⑤漢字語の例外的な濃音化

사건
 [사^ㄱ꺼]

2-10. 発音変化の例 ([]の中は発音)

1. 有声音化 (ゆうせいおんか)			2. 連音化 (れんおんか)					
고기	[코기]	肉	산이	[사니]	山が	사랑이	[사랑이]	愛が
두다	[투다]	置く	산은	[사는]	山は	공은	[공은]	ボールは
부부	[부부]	夫婦	산에	[사네]	山に	좋은	[조은]	よい～
자주	[차주]	しばしば	몸이	[모미]	体が	낳은	[나은]	産んだ～
바다	[파다]	海	마음은	[마으믄]	心は	닭이	[달기]	にわとりが
두부	[투부]	豆腐	이것이	[이거시]	これが	넓은	[널븐]	広い～
부두	[부두]	埠頭	이것은	[이거슨]	これは	앉아요	[안자요]	座ります
기자	[기자]	記者	이것을	[이거슬]	これを	읽어요	[일거요]	読みます
자기	[차기]	自分	밥이	[바비]	ごはんが	살아요	[살마요]	ゆめます
바지	[파지]	ズボン	밥을	[바블]	ごはんを	값이	[갑씨]	値段が
반도	[반도]	半島	국을	[구글]	スープを	많은	[마는]	多い～
남자	[남자]	男	국입니다	[구깁니다]	スープです	싫어요	[시러요]	いやです
딸기	[탈기]	いちご	받아요	[바다요]	受け取ります	잃어요	[이러요]	失います
공부	[공부]	勉強	맞아요	[마자요]	その通りです	입 위	[이뷔]	口の上
			꽃이	[꼬치]	花が	잎 위	[이뷔]	葉の上
			부엌에	[부어케]	台所に	옷 위	[오뒤]	服の上
			밭에	[바테]	畑に	못 읍니다	[모돔니다]	来られません
			숲에	[수페]	森に	꽃 아래	[꼬다래]	花の下
			밖에	[바께]	外に	밭 앞	[바답]	畑の前
			있어요	[이씨요]	あります、います	부엌 안	[부어간]	台所の中
			달이	[다리]	月が	헛웃음	[허두슴]	つくり笑い
			딸은	[따른]	娘は			

2-10. 発音変化の例 ([] の中は発音)

3. 濃音化 (のうおんか)								
책방	[책뻥]	本屋	합격	[합격]	合格	넓다	[널따]	広い
복도	[복또]	ろうか	밥도	[밥또]	ごはんも	바닷가	[바닷까]	海辺
학교	[학꾄]	学校	접시	[접씨]	皿	길가	[길까]	道端
걱정	[걱정]	心配	앞도	[압또]	前も	비빔밥	[비빔뻥]	ビビンバ
학생	[학쌩]	学生	압도	[압또]	圧倒	발달	[발딸]	発達
부엌도	[부억또]	台所も	입 속	[입속]	口の中	발생	[발쌩]	発生
부엌 밖	[무억뻥]	台所の外	밟다	[밥따]	踏む	발정	[발정]	発展
밖도	[박또]	外も	없다	[업따]	ない、いない	철도	[철또]	鉄道
읽다	[익따]	読む	없고	[업꼬]	なくて、いなくて	물질	[물질]	物質
읽습니다	[익쌩니다]	読みます	없습다	[업쌩니다]	ありません	칠십	[칠쌩]	七十
읽고	[일꼬]	読んで	없지요	[업찌요]	ないでしょう	결정	[결정]	決定
닫다	[닫따]	閉める	신다	[신타]	履く	결심	[결쌩]	決心
닫고	[닫꼬]	閉めて	신고	[신타]	履いて	열 둘	[열똥]	十二
닫습니다	[닫쌩니다]	閉めます	신습다	[신타]	履きます	열 셋	[열쌩]	十三
꽃도	[꼇또]	花も	신지요	[신타]	履くでしょう	열 다섯	[열따쌩]	十五
같다	[갇따]	同じだ	남다	[남따]	残る			
옷 걸	[온격]	服の表	남고	[남꼬]	残って			
낮잠	[낫쌩]	昼寝	남습다	[남쌩니다]	残ります			
있다	[읷따]	ある、いる	남지요	[남찌요]	残るでしょう			
있고	[읷꼬]	あって、いて	앉다	[안따]	座る			
있습니다	[읷쌩니다]	あります、います	삶다	[삼따]	ゆでる、煮る			
있지요	[읷찌요]	あるでしょう	젊다	[점따]	若い			

2-10. 発音変化の例 ([]の中は発音)

4. 鼻音化 (びおんか)					
박는	[방는]	打つ～	밥만	[밤만]	ごはんだけ
깎는	[깡는]	削る～	입만	[임만]	口だけ
읽는	[잉는]	読む～	잎만	[임만]	葉だけ
꽃놀이	[꼰노리]	花見	집 밑	[짐밑]	家の下
빛나다	[빈나다]	輝く	금리	[금니]	金利
믿는	[민는]	信じる～	심리	[심니]	心理
있는	[인는]	ある～、いる～	생략	[생낙]	省略
입니다	[임니다]	～です	동력	[동낙]	動力
합니다	[함니다]	します	법률	[법눌]	法律
값는	[감는]	返す～	몇리	[면니]	何里
없는	[엄는]	ない～	국력	[궁낙]	国力
밟는	[밤는]	踏む～			
식물	[싱물]	植物			
밖만	[방만]	外だけ			
부엌만	[부엡만]	台所だけ			
책 밑	[챙밑]	本の下			
꽃만	[꼰만]	花だけ			
빛만	[빈만]	光だけ			
빳만	[빈만]	くしだけ			
빳만	[빈만]	借金だけ			
꽃 밑	[꼰밑]	花の下			
꽃말	[꼰말]	花言葉			

2-10. 発音変化の例 ([]の中は発音)

5. 激音化 (げきおんか)			6. 流音化 (りゅうおんか)			7. 口蓋音化 (こうがいおんか)		
백화점	[배콰점]	百貨店	신라	[실라]	新羅(しらぎ)	굳이	[구지]	あえて
국화	[구과]	菊	연락	[열락]	連絡	해돋이	[해도지]	日の出
축하	[추카]	祝賀	진리	[질리]	真理	같이	[가치]	いっしょに
잘못하다	[잘모타다]	誤る、間違える	원리	[월리]	原理	밭이	[바치]	畑が
뜻하다	[뜨타다]	志す、意味する	칠년	[칠련]	七年	팔이	[파치]	あずきが
협회	[혀피]	協会	팔년	[팔련]	八年	붙이다	[부치다]	つける
입학	[이팍]	入学	달나라	[달라라]	月世界	붙여요	[부쳐요]	つけます
읽히다	[일키다]	読まれる	漢字語のㄹ化			훈이다	[훈치다]	しなびる
밟히다	[발피다]	踏まれる	생산력	[생산녁]	生産力	훈여요	[훈쳐요]	しなびます
좋다	[조타]	よい	구인란	[구인난]	求人欄	닫히다	[다치다]	閉まる
좋고	[조코]	よくて				닫혀요	[다쳐요]	閉まります
좋지요	[조치요]	よいでしょう						
많다	[만타]	多い						
싫다	[실타]	いやだ、きらいだ						
ㅎ関連の濃音化								
좋습니다	[조쌌니다]	よいです						
많습니다	[만쌌니다]	多いです						
싫습니다	[실쌌니다]	いやです						

2-10. 発音変化の例 ([] の中は発音)

8. ㄴの挿入			9. その他					
문 옆	[문넙]	ドアの横	ㅎの弱音化・無音化		것(거)(~のモノ)の濃音化			
일본 요리	[일본뇨리]	日本料理	전화	[저너]	電話	내 것	[내곶]	私のもの
짐 옆	[짐넙]	荷物の横	임하다	[이마다]	臨む	제 것	[제곶]	私のもの
부산역	[부산녁]	プサン駅	일하다	[이라다]	働く	선생님 것	[선생님곶]	先生のもの
맹장염	[맹장넙]	盲腸炎	안녕히	[안녕이]	安寧に			
집 옆	[집넙]	家の横	未来連体形に関連する濃音化		동안(間)の濃音化			
십육	[십륙]	十六	할 것이다	[할꺼시다]	するだろう、 するつもりだ	사흘 동안	[사흘똥안]	3日間
꽃 옆	[꼰넙]	花の横	할 것 같다	[할곶깝따]		漢字語の例外的な濃音化		
밭 옆	[반넙]	畑の横			するそうだ、するらしい	사건	[사곶]	事件
밭일	[반닐]	畑仕事	할 듯하다	[할뜨타다]	するようだ	내과	[내꽈]	内科
옛이야기	[엔이야기]	昔話	할 수 있다	[할쑤읏따]	することができる	안과	[안꽈]	眼科
책 옆	[챙넙]	本の横	할 수 없다	[할쑤업따]	することができない	한자	[한짜]	漢字
백육	[백륙]	百六	할지도 모르다	[할찌도모르다]	するかもしれない	인기	[인끼]	人気
한국 요리	[한궁뇨리]	韓国料理				헌법	[헌뻬]	憲法
수학 여행	[수항녀행]	修学旅行				민법	[민뻬]	民法
부엌 옆	[부엡넙]	台所の横				물가	[물까]	物価
불일	[불릴]	用事				공적	[공쩍]	公的
할 일	[할릴]	すること				주권	[주뀨]	主権
물약	[물략]	水薬						
서울역	[서울력]	ソウル駅						

第3章 基本要素

3-1. <입니다 : ~です> <입니까 : ~ですか>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	김치입니까? [김치입니다?] キムチ ですか
	예, 김치입니다. [예, 김치입니다.] はい キムチ です
2	당근입니까? [당근입니다?] ニンジン ですか
	아뇨, 수박입니다. [아뇨, 수박입니다.] いいえ スイカ です

大切なところ ([]の中は発音)

<입니다 : ~です> <입니까 : ~ですか>

아버지	→ 아버지입니다.	[아버지입니다.]	お父さんです。
	아버지입니까?	[아버지입니까?]	お父さんですか。
밥	→ 밥입니다.	[바빔니다.]	ご飯です。
	밥입니까?	[바빔니까?]	ご飯ですか。
연필	→ 연필입니다.	[연피립니다.]	鉛筆です。
	연필입니까?	[연피립니다?]	鉛筆ですか。
빵	→ 빵입니다.	[빵입니다.]	パンです。
	빵입니까?	[빵입니까?]	パンですか。
밭	→ 밭입니다.	[바칩니다.]	畑です。
	밭입니까?	[바칩니까?]	畑ですか。

第3章 基本要素

3-2. <는/은 : ~は>

番号	例 文 ([]の中は発音)		
1	여기는 교회입니까? [여기는 교회입니까?] ここ は 教会 ですか		
	아뇨, 거기는 병원입니다. [아뇨, 거기는 병워닙니다.] いいえ そこ は 病院 です		
2	이것은 필통입니까? [이거슨 필통입니까?] これ は 筆箱 ですか		
	예, 그것은 필통입니다. [예, 그거슨 필통입니다.] はい それ は 筆箱 です		
3	당신은 누구입니까? [당시는 누구입니까?] あなた は 誰 ですか		
	저는 야마다 유리입니다. [저는 야마다 유리입니다.] 私 は ヤマダ ユリ です		
대 切 な と こ ろ ([]の中は発音)			
<는/은 : ~は>			
우리	→ 우리는	[우리는]	私たちは
어머니	→ 어머니는	[어머니는]	お母さんは
천국	→ 천국은	[천구근]	天国は
하나님	→ 하나님은	[하나니믄]	神様は
물	→ 물은	[무믄]	水は
안경	→ 안경은	[안경은]	めがねは

第3章 基本要素

3-3. <가/이 : ~가>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	여기가 학교입니까? [여기가 학교입니까?] <small>ここ が 学校 ですか</small>
	아뇨, 거기는 호텔입니다. [아뇨, 거기는 호텔입니다.] <small>いいえ そこ は ホテル です</small>
2	이것이 교과서입니까? [이거시 교과서입니까?] <small>これ が 教科書 ですか</small>
	예, 그것이 교과서입니다. [예, 그거시 교과서입니다.] <small>はい それが 教科書 です</small>
3	이 사람이 선수입니까? [이 사라미 선수입니까?] <small>この 人 が 選手 ですか</small>
	아뇨, 저 사람이 선수입니다. [아뇨, 저 사라미 선수입니다.] <small>いいえ あの 人 が 選手 です</small>
대 切 な と こ ろ ([]の中は発音)	
<가/이 : ~가> 할머니 → 할머니가 [할머니가] おばあさんが ※저 → 제가 [제가] 私が 야구 → 야구가 [야구가] 野球が 비빔밥 → 비빔밥이 [비빔빠비] 비빔밥이 눈물 → 눈물이 [눈무리] 涙が 사랑 → 사랑이 [사랑이] 愛が 팔 → 팔이 [파치] 小豆(あずき)가	

第3章 基本要素

3-4. <가/이 아닙니다 : ~ではありません>

番号	例 文 ([]の中は発音)		
1	저것은 비행기입니까? [저거슨 비행기입니까?] あれ は 飛行機 ですか		
	아뇨, 비행기가 아닙니다. [아뇨, 비행기가 아닙니다.] いいえ 飛行機 ではありません		
2	출발은 오늘입니까? [출바른 오느릅니까?] 出発 は 今日 ですか		
	아뇨, 오늘이 아닙니다. [아뇨, 오느리 아닙니다.] いいえ 今日 ではありません		
3	혹시 의사가 아십니까? [혹시 의사가 아십니까?] もしかして 医者 ではありませんか		
	예, 저는 의사입니다. [예, 저는 의사입니다.] はい 私 は 医者 です		
大 切 な と こ ろ ([]の中は発音)			
<가/이 아닙니다 : ~ではありません>			
	할아버지 → 할아버지가 아닙니다.	[하라버지가 아닙니다.]	おじいさんではありません。
	지우개 → 지우개가 아닙니다.	[지우개가 아닙니다.]	消しゴムではありません。
	신문 → 신문이 아닙니다.	[신문이 아닙니다.]	新聞ではありません。
	거짓말 → 거짓말이 아닙니다.	[거진마리 아닙니다.]	うそではありません。
	공장 → 공장이 아닙니다.	[공장이 아닙니다.]	工場ではありません。
	끝 → 끝이 아닙니다.	[끄치 아닙니다.]	終わりではありません。

第3章 基本要素

3-5. <있습니다 : あります・います> <없습니다 : ありません・いません>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	<p><u>오늘은 시간이 있습니까?</u> [오느른 시가니 이쭈니까?] 今日 は 時間 が ありますか</p>
	<p><u>예, 있습니다.</u> [예, 이쭈니다.] はい あります</p>
2	<p><u>학생은 있습니까?</u> [학생은 이쭈니까?] 学生 は いますか</p>
	<p><u>예, 있습니다.</u> [예, 이쭈니다.] はい います</p>
3	<p><u>숙제는 있습니까?</u> [숙제는 이쭈니까?] 宿題 は ありますか</p>
	<p><u>아뇨, 없습니다.</u> [아뇨, 업쭈니다.] いいえ ありません</p>
4	<p><u>질문은 없습니까?</u> [질무는 업쭈니까?] 質問 は ありませんか</p>
	<p><u>예, 없습니다.</u> [예, 업쭈니다.] はい ありません</p>
5	<p><u>친구가 없습니까?</u> [친구가 업쭈니까?] 友達 が いませんか</p>
	<p><u>아뇨, 있습니다.</u> [아뇨, 이쭈니다.] いいえ います</p>

第3章 基本要素

3-6. <의 : ~의> <도 : ~도> <만 : ~만>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	이것은 무엇입니까? [이거슨 무어십니까?] これ は 何 ですか
	아버님의 가방입니다. [아버니메 가방입니다.] お父様 の かばん です
2	개도 있습니까? [개도 이쭈니까?] 犬 も いますか
	아뇨, 고양이만 있습니다. [아뇨, 고양이만 이쭈니다.] いいえ 猫 だけ います

大 切 な と こ ろ ([]の中は発音)

<의 : ~의> <도 : ~도> <만 : ~만>

나무	→ 나무의	[나무에]	木の	※저	→ 저의	[저에]	→ 제	[제]	私の
	나무도	[나무도]	木も						
	나무만	[나무만]	木だけ						
선생님	→ 선생님의	[선생니메]	先生の						
	선생님도	[선생님도]	先生も						
	선생님만	[선생님만]	先生だけ						
책	→ 책의	[책게]	本の						
	책도	[책또]	本も						
	책만	[책만]	本だけ						

第3章 基本要素

3-7. <~を> <~に> <~で> <~から> <~まで> <~へ> <~と>

大切 な ところ ([] の中 は 発音)			
를 / 을 ~을	<u>학교를</u> [학교를] 学校 を	<u>서울을</u> [서우를] ソウル を	<u>산을</u> [사늘] 山 を
에 ~(もの・こと・場所など)に	<u>학교에</u> [학교에] 学校 に	<u>서울에</u> [서우레] ソウル に	<u>산에</u> [사네] 山 に
에게 ~(人・動物)に	<u>저에게</u> [저에게] 私 に	<u>딸에게</u> [따레게] 娘 に	<u>학생에게</u> [학생에게] 学生 に
에서 ~(場所)で ~(場所)から	<u>학교에서</u> [학교에서] 学校 で	<u>서울에서</u> [서우레서] ソウル で	<u>산에서</u> [사네서] 山 で
	학교 から	소울 から	산 から
에게서 ~(人)から	<u>저에게서</u> [저에게서] 私 から	<u>딸에게서</u> [따레게서] 娘 から	<u>형에게서</u> [형에게서] 兄 から
부터 ~から(始まり)	<u>그 때부터</u> [그 때부터] その 時 から	<u>오늘부터</u> [오늘부터] 今日 から	<u>지금부터</u> [지금부터] 今 から
까지 ~まで	<u>여기까지</u> [여기까지] ここ まで	<u>내일까지</u> [내일까지] 明日 まで	<u>지금까지</u> [지금까지] 今 まで
로 / 으로 ~へ(方向) ~で(道具・手段)	<u>학교로</u> [학교로] 学校 へ	<u>서울로</u> [서울로] 소울 へ	<u>산으로</u> [사느로] 山 へ
	<u>머리로</u> [머리로] 頭 で	<u>발로</u> [발로] 足 で	<u>손으로</u> [소느로] 手 で
와 / 과 ~と(並列)	<u>학교와</u> [학교와] 学校 と	<u>서울과</u> [서울과] 소울 と	<u>산과</u> [산과] 山 と

第3章 基本要素

3-8. <이 : この> <그 : その> <저 : あの> <어느 : どの>

番号	例 文 ([]の中は発音)																																
1	어느 요리가 최고입니까? [어느 요리가 최고입니까?] どの 料理 が 最高 ですか																																
	저 요리가 최고입니다. [저 요리가 최고입니다.] あの 料理 が 最高 です																																
2	그 과일은 사과입니까? [그 과이른 사과입니까?] その 果物 は リンゴ ですか																																
	아뇨, 이 과일은 복숭아입니다. [아뇨, 이 과이른 복숭아입니다.] いいえ この 果物 は 桃 です																																
大 切 な と こ ろ ([]の中は発音)																																	
<p><이 : この> <그 : その> <저 : あの> <어느 : どの></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">사람</td> <td style="width: 10%;">→ 이 사람</td> <td style="width: 20%;">[이 사람]</td> <td style="width: 10%;">この人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>그 사람</td> <td>[그 사람]</td> <td>その人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>저 사람</td> <td>[저 사람]</td> <td>あの人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>어느 사람</td> <td>[어느 사람]</td> <td>どの人</td> </tr> <tr> <td>바나나</td> <td>→ 이 바나나</td> <td>[이 바나나]</td> <td>このバナナ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>그 바나나</td> <td>[그 바나나]</td> <td>そのバナナ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>저 바나나</td> <td>[저 바나나]</td> <td>あのバナナ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>어느 바나나</td> <td>[어느 바나나]</td> <td>どのバナナ</td> </tr> </table>		사람	→ 이 사람	[이 사람]	この人		그 사람	[그 사람]	その人		저 사람	[저 사람]	あの人		어느 사람	[어느 사람]	どの人	바나나	→ 이 바나나	[이 바나나]	このバナナ		그 바나나	[그 바나나]	そのバナナ		저 바나나	[저 바나나]	あのバナナ		어느 바나나	[어느 바나나]	どのバナナ
사람	→ 이 사람	[이 사람]	この人																														
	그 사람	[그 사람]	その人																														
	저 사람	[저 사람]	あの人																														
	어느 사람	[어느 사람]	どの人																														
바나나	→ 이 바나나	[이 바나나]	このバナナ																														
	그 바나나	[그 바나나]	そのバナナ																														
	저 바나나	[저 바나나]	あのバナナ																														
	어느 바나나	[어느 바나나]	どのバナナ																														

3-10. <여기 : 这里> <거기 : 那里> <저기 : あそこ> <어디 : どこ>

番号	例 文 ([]の中は発音)		
1	제 가방은 어디에 있습니까? [제 가방은 어디에 이쭈니까?]		
	私の カバン は どこ に ありますか		
	여기에 있습니다. [여기에 이쭈니다.]		
	ここ に あります		
大 切 な と こ ろ ([]の中は発音)			
<여기 : 这里> <거기 : 那里> <저기 : あそこ> <어디 : 哪里>			
	여기 →	여기에 [여기에]	ここに
		여기에서 [여기에서]	ここで・ここから
		여기까지 [여기까지]	ここまで
	거기 →	거기에 [거기에]	そこに
		거기에서 [거기에서]	そこで・そこから
		거기까지 [거기까지]	そこまで
	저기 →	저기에 [저기에]	あそこに
		저기에서 [저기에서]	あそこで・あそこから
		저기까지 [저기까지]	あそこまで
	어디 →	어디에 [어디에]	どこに
		어디에서 [어디에서]	どこで・どこから
		어디까지 [어디까지]	どこまで
		어디입니까? [어디입니까?]	どこですか。

第3章 基本要素

3-12. <무슨 : 何の> <몇 : いくつの> <얼마 : いくら> <曜日> <数>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	오늘은 무슨 요일입니까? [오느른 무슨 뇨이릅니까?] 今日 は 何曜日 ですか
	토요일입니다. [토요이릅니다.] 土曜日 です
2	지금 몇 시입니까? [지금 면 씨입니까?] 今 何時 ですか
	오후 세 시 십 분입니다. [오후 세 시 십 뿌닙니다.] 午後 3 時 10 分 です
大切 な ところ ([]の中は発音)	
<p><무슨 : 何の> <몇 : いくつの> <얼마 : いくら> <曜日> <数></p> <p>무슨 → 무슨 책 [무슨 책] 何の本</p> <p>몇 → 몇 살 [몇 살] 何才</p> <p>얼마 → 얼마입니까? [얼마입니까?] いくらですか。</p> <p>曜日 → 일요일 월요일 화요일 수요일 목요일 금요일 토요일 日曜日 月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日</p> <p>漢数詞 → 일 이 삼 사 오 육 칠 팔 구 십 백 천 만 억 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 百 千 万 億</p> <p>固有数詞 → 하나 둘 셋 넷 다섯 여섯 일곱 여덟 아홉 열 一つ 二つ 三つ 四つ 五つ 六つ 七つ 八つ 九つ 十</p> <p>※固有数詞の連体形: 한(一つの)、두(二つの)、세(三つの)、네(四つの)。使用例は「한 개」(一個)。</p>	

第3章 基本要素

3-13. <입니다/습니다 : ~です・ます> <입니까/습니까 : ~ですか・ますか>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	어디에 <u>갑니까?</u> [어디에 감니까?] どこ に 行きますか
	한국에 <u>갑니다.</u> [한구게 감니다.] 韓国 に 行きます
2	김밥을 <u>먹습니까?</u> [김빠블 먹쑤니까?] のりまき を 食べますか
	예, <u>먹습니다.</u> [예, 먹쑤니다.] はい 食べます
大 切 な と こ ろ ([]の中は発音)	
<ul style="list-style-type: none"> ・用言(ようげん) : 人や物などの動作や状態を表す言葉。例)「먹다」(食べる)、「아름답다」(美しい)、「조용하다」(静かだ)。 ・基本形(きほんけい) : 用言の基本的な形(辞書に載っている形)。全ての用言の基本形は「다」で終わる。例)「먹다」(食べる)。 ・語幹(ごかん) : 用言の基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。例)「먹다」(食べる)の語幹は「먹」。 ・母音語幹(ぼいんごかん) : 母音で終わっている語幹(パッチムで終わっていない語幹)。例)「보다」(見る)の語幹「보」は母音語幹。 ・子音語幹(しいんごかん) : 子音で終わっている語幹(パッチムで終わっている語幹)。例)「먹다」(食べる)の語幹「먹」は子音語幹。 	
<p><母音語幹+입니다 : ~です・ます> <母音語幹+입니까 : ~ですか・ますか></p> <p>하다 → 語幹「하」は 母音語幹 → 「하」+「입니다」 → 합니다. [합니다.] します。 → 「하」+「입니까」 → 합니까? [합니까?] しますか。</p>	
<p><子音語幹+습니다 : ~です・ます> <子音語幹+습니까 : ~ですか・ますか></p> <p>받다 → 語幹「받」は 子音語幹 → 「받」+「습니다」 → 받습니다. [바쑤니다.] 受けます。 → 「받」+「습니까」 → 받습니까? [바쑤니까?] 受けますか。</p>	

第3章 基本要素

3-14. ㄷ語幹の〈~です・ます〉〈~ですか・ますか〉

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	고향은 <u>멀</u> 니까? [고향은 <u>며</u> 니까?] 故郷 は 遠い <u>です</u> か
	<u>예</u> , <u>멀</u> 니다. [예, <u>며</u> 니다.] はい 遠い <u>です</u>
2	창문을 <u>열</u> 니까? [창무 <u>늘</u> <u>열</u> 니까?] 窓 を 開け <u>ます</u> か
	<u>예</u> , <u>열</u> 니다. [예, <u>열</u> 니다.] はい 開け <u>ます</u>

大切 な ところ ([]の中は発音)

・ㄷ語幹(リウルごかん)：ㄷパッチムで終わっている語幹。例)알다(知る・わかる)の語幹「알」はㄷ語幹。

〈ㄷ語幹－最後のㄷパッチム+ㅂ니다：~です・ます〉

〈ㄷ語幹－最後のㄷパッチム+ㅂ니까：~ですか・ますか〉

돌다 →	語幹「돌」は ㄷ語幹	→ 「돌」-「ㄷ」+「ㅂ니다」 → 「돌」-「ㄷ」+「ㅂ니까」	→ 돌 <u>ㅂ</u> 니다. [돌 <u>며</u> 니다.] → 돌 <u>ㅂ</u> 니까? [돌 <u>며</u> 니까?]	回ります。 回りますか。
팔다 →	語幹「팔」は ㄷ語幹	→ 「팔」-「ㄷ」+「ㅂ니다」 → 「팔」-「ㄷ」+「ㅂ니까」	→ 팔 <u>ㅂ</u> 니다. [팔 <u>ㅂ</u> 니다.] → 팔 <u>ㅂ</u> 니까? [팔 <u>ㅂ</u> 니까?]	売ります。 売りますか。
울다 →	語幹「울」は ㄷ語幹	→ 「울」-「ㄷ」+「ㅂ니다」 → 「울」-「ㄷ」+「ㅂ니까」	→ 울 <u>ㅂ</u> 니다. [울 <u>ㅂ</u> 니다.] → 울 <u>ㅂ</u> 니까? [울 <u>ㅂ</u> 니까?]	泣きます。 泣きますか。

第3章 基本要素

3-15. <지 않습니다 : ~ないです・しません> <지 못합니다 : ~できません>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	춥지 <u>않습니까?</u> [춥찌 안썸니까?] 寒くないですか
	예, <u>춥지 않습니다.</u> [예, 춥찌 안썸니다.] はい 寒くないです
2	딸기는 <u>먹지 못합니까?</u> [딸기는 먹찌 모탐니까?] イチゴ は 食べられませんか
	예, <u>먹지 못합니다.</u> [예, 먹찌 모탐니다.] はい 食べられません

大切なところ ([]の中は発音)

<語幹+지 않습니다 : ~ないです・しません> <語幹+지 않습니다 : ~ないですか・しませんか>

오다 → 語幹は「오」	오지 않습니다.	[오지 안썸니다.]	来ません。	「않습니다」は、 基本形「않다」 (~ない・しない) の語幹「않」に 「습니다」がついた形。
	오지 않습니다?	[오지 안썸니까?]	来ませんか。	
좋다 → 語幹は「좋」	좋지 않습니다.	[조치 안썸니다.]	よくないです。	
	좋지 않습니다?	[조치 안썸니까?]	よくないですか。	

<語幹+지 못합니다 : ~できません> <語幹+지 못합니다 : ~できませんか>

걷다 → 語幹は「걷」	걷지 못합니다.	[걷찌 모탐니다.]	歩けません。	「못합니다」は、 基本形「못하다」 (~できない) の語幹「못하」に 「니다」がついた形。
	걷지 못합니다?	[걷찌 모탐니까?]	歩けませんか。	
열다 → 語幹は「열」	열지 못합니다.	[열찌 모탐니다.]	開けられません。	
	열지 못합니다?	[열찌 모탐니까?]	開けられませんか。	

第3章 基本要素

3-16. <예요/이에요 : ~です・ですか>

番号	例 文 ([]の中は発音)		
1	김치예요? [김치예요?]		
	キムチ ですか		
2	예, 김치예요. [예, 김치예요.]		
	はい キムチ です		
2	당근이에요? [당그니예요?]		
	ニンジン ですか		
2	아뇨, 수박이에요. [아뇨, 수바기에요.]		
	いいえ スイカ です		
大 切 な と こ ろ ([]の中は発音)			
<예요/이에요 : ~です・ですか>			
아버지	→ 아버지예요.	[아버지예요.]	お父さんです。
	아버지예요?	[아버지예요?]	お父さんですか。
밥	→ 밥이에요.	[바비에요.]	ご飯です。
	밥이에요?	[바비에요?]	ご飯ですか。
연필	→ 연필이에요.	[연피리에요.]	鉛筆です。
	연필이에요?	[연피리에요?]	鉛筆ですか。
빵	→ 빵이에요.	[빵이에요.]	パンです。
	빵이에요?	[빵이에요?]	パンですか。
밭	→ 밭이에요.	[바치예요.]	畑です。
	밭이에요?	[바치예요?]	畑ですか。

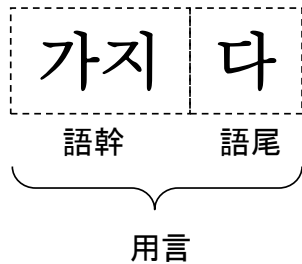
第3章 基本要素

3-17. <가/이 아니에요 : ~ではありません・ではありませんか>

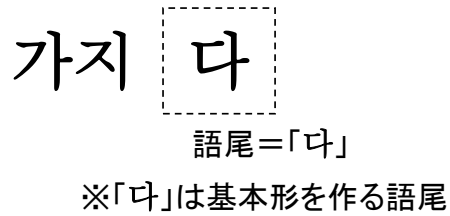
番号	例 文 ([]の中は発音)																										
1	저것은 비행기예요? [저거슨 비행기예요?] あれ は 飛行機 ですか																										
	아뇨, 비행기가 아니에요. [아뇨, 비행기가 아니에요.] いいえ 飛行機 ではありません																										
2	출발은 오늘이에요? [출바른 오느리에요?] 出発 は 今日 ですか																										
	아뇨, 오늘이 아니에요. [아뇨, 오느리 아니에요.] いいえ 今日 ではありません																										
3	혹시 의사가 아니에요? [혹시 의사가 아니에요?] もしかして 医者 ではありませんか																										
	예, 저는 의사예요. [예, 저는 의사예요.] はい 私 は 医者 です																										
大切 な ところ ([]の中は発音)																											
<가/이 아니에요 : ~ではありません・ではありませんか> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">할아버지</td> <td style="width: 30%;">→ 할아버지가 아니에요.</td> <td style="width: 20%;">[하라버지가 아니에요.]</td> <td style="width: 20%;">おじいさんではありません。</td> </tr> <tr> <td>지우개</td> <td>→ 지우개가 아니에요?</td> <td>[지우개가 아니에요?]</td> <td>消しゴムではありませんか。</td> </tr> <tr> <td>신문</td> <td>→ 신문이 아니에요.</td> <td>[신문이 아니에요.]</td> <td>新聞ではありません。</td> </tr> <tr> <td>거짓말</td> <td>→ 거짓말이 아니에요.</td> <td>[거진마리 아니에요.]</td> <td>うそではありません。</td> </tr> <tr> <td>공장</td> <td>→ 공장이 아니에요?</td> <td>[공장이 아니에요?]</td> <td>工場ではありませんか。</td> </tr> <tr> <td>끝</td> <td>→ 끝이 아니에요.</td> <td>[끄치 아니에요.]</td> <td>終わりではありません。</td> </tr> </table>				할아버지	→ 할아버지가 아니에요.	[하라버지가 아니에요.]	おじいさんではありません。	지우개	→ 지우개가 아니에요?	[지우개가 아니에요?]	消しゴムではありませんか。	신문	→ 신문이 아니에요.	[신문이 아니에요.]	新聞ではありません。	거짓말	→ 거짓말이 아니에요.	[거진마리 아니에요.]	うそではありません。	공장	→ 공장이 아니에요?	[공장이 아니에요?]	工場ではありませんか。	끝	→ 끝이 아니에요.	[끄치 아니에요.]	終わりではありません。
할아버지	→ 할아버지가 아니에요.	[하라버지가 아니에요.]	おじいさんではありません。																								
지우개	→ 지우개가 아니에요?	[지우개가 아니에요?]	消しゴムではありませんか。																								
신문	→ 신문이 아니에요.	[신문이 아니에요.]	新聞ではありません。																								
거짓말	→ 거짓말이 아니에요.	[거진마리 아니에요.]	うそではありません。																								
공장	→ 공장이 아니에요?	[공장이 아니에요?]	工場ではありませんか。																								
끝	→ 끝이 아니에요.	[끄치 아니에요.]	終わりではありません。																								

本章では、「語基」という考え方にもとづき、中高生向けに分かりやすい用語を使用して、「用言の活用」の解説を試みた。

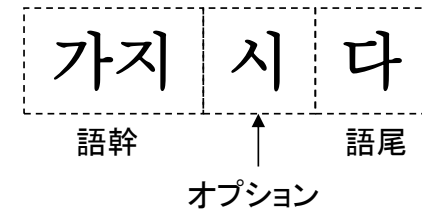
★「用言」と「語幹」と「語尾」



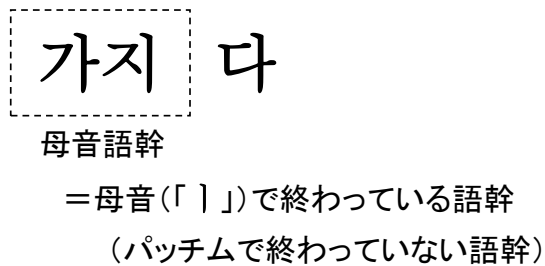
★用言の「基本形」(辞書形)



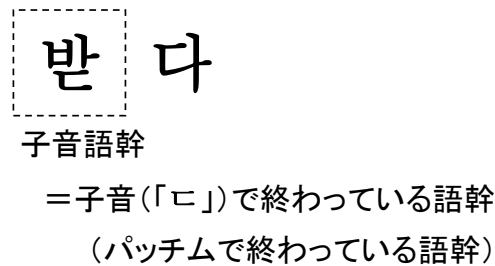
★「語幹」と「オプション」と「語尾」



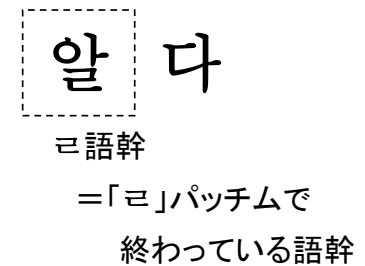
★「母音語幹」



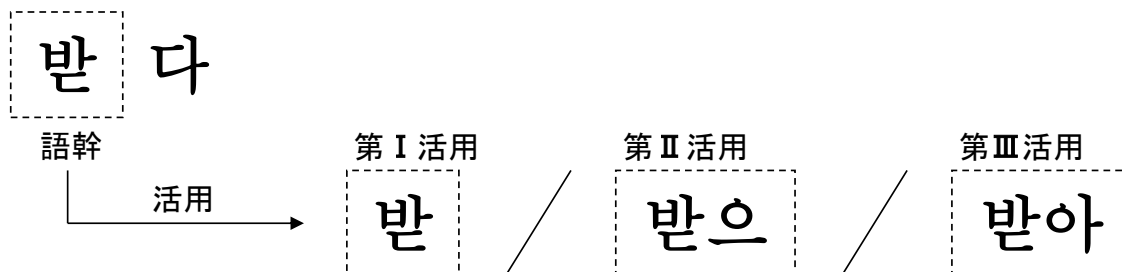
★「子音語幹」



★「ㄷ語幹」



★「語幹」と「活用形」



★「活用形」と「語尾」

- ①全ての用言の活用形は3つのみ
- ②語尾は、どの活用形に接続するか決まっている
- ③語尾は変化しない

★活用の種類

1. 正格活用
2. ㄷ活用(ㄷ語幹の活用)
3. 하다用言の活用
4. 으活用(으語幹の活用)
5. 르変格活用
6. 리変格活用
7. ㅁ変格活用
8. ㅎ変格活用
9. ㅂ変格活用
10. ㅅ変格活用
11. ㅈ変格活用
12. ㅊ変格活用
13. 第Ⅲ活用の短縮形
14. 指定詞の用言(「이다」・「아니다」)の活用
15. 存在詞の用言(「있다」・「없다」)の活用
16. 尊敬語幹の活用
17. 過去語幹の活用
18. 意志語幹の活用

★語尾の表現の例

①第Ⅰ活用に付く語尾の表現

I -고	~て／~して
I -고 있다	~している
I -고 싶다	~したい
I (子音語幹) -습니다	~です／~します

②第Ⅱ活用に付く語尾の表現

Ⅱ -면	~ならば／~すると
Ⅱ -ㄴ 수 있다	~することができる
Ⅱ -ㄴ 수 없다	~することができない
Ⅱ -려고 하다	~しようと思う／~しようとする
Ⅱ (母音語幹・ㄷ語幹) -ㅁ니다	~です／~します

③第Ⅲ活用に付く語尾の表現

Ⅲ -야 하다	~しなければならない (原意：~してこそ成す)
Ⅲ -야 되다	~しなければならない (原意：~してこそ成る・よい)
Ⅲ 주세요	~してください
Ⅲ -요	~です／~します／ ~してください／~しましょう
Ⅲ -요?	~ですか／~しますか

1. 正格活用

	基本形	子音語幹	母音語幹
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		받다	주다
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		받	주
第Ⅱ活用 … 子音語幹であれば、語幹+「으」。 母音語幹であれば、語幹と同じ。		받으	주
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の母音が ◎陽母音ならば、語幹+「아」。 ◎陰母音ならば、語幹+「어」。 語幹の最後の文字が 母音「ㅏ」で終わるならば、「ㅏ」+「아」→「ㅑ」。 母音「ㅓ」で終わるならば、「ㅓ」+「어」→「ㅕ」。 母音「ㅣ」で終わるならば、「ㅣ」+「어」→「ㅛ」 (「ㅍ이다」は、通常「ㅍ이어」の形を取る)。 「오」ならば、「오」+「아」→「와」。 「우」ならば、「우」+「어」→「워」。		받아	주어

正格活用										
意味	見る	受ける	与える	食べる	行く	立つ	持つ	咲く	来る	学ぶ
基本形	보다	받다	주다	먹다	가다	서다	가지다	피다	오다	배우다
第Ⅰ活用	보	받	주	먹	가	서	가지	피	오	배우
第Ⅱ活用	보	받으	주	먹으	가	서	가지	피	오	배우
第Ⅲ活用	보아	받아	주어	먹어	가	서	가져	피어	와	배워

2. ㄷ活用(ㄷ語幹の活用)

	意味	知る・わかる	遠い
	基本形	알다	멀다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		알	멀
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。ただし、後ろに「ㄴ」・「ㄷ」(パッチム)・「ㅁ」・「ㅂ」・「ㅅ」・「ㅇ」で始まる言葉が来るときは、語幹の「ㄷ」パッチムを取り除く。		알/아	멀/머
第Ⅱ活用 … 語幹と同じ。ただし、後ろに「ㄴ」・「ㄷ」(パッチム)・「ㅁ」・「ㅂ」・「ㅅ」・「ㅇ」で始まる言葉が来るときは、語幹の「ㄷ」パッチムを取り除く。		알/아	멀/머
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の母音が 陽母音ならば、語幹+「아」。 陰母音ならば、語幹+「어」。 ただし、「말다」の後ろに丁寧な語尾「III-요」が来るとき、および、「말다」がぞんざいな形「III」で終わるとき、「마」も可。		알아	멀어

第Ⅰ活用の使用例	語幹の「ㄷ」パッチム【残】: 「알고 (知って)」
	語幹の「ㄷ」パッチム【除】: 「아는 사람 (知っている人(知人)) ※現在連体形」「아웁니다. (存じております。) ※美化語」
第Ⅱ活用の使用例	語幹の「ㄷ」パッチム【残】: 「알면 (知れば)」
	語幹の「ㄷ」パッチム【除】: 「아세요. (ご存じます。) ※尊敬」「압니다. (知っています。)」 「알 거예요. (知るでしょう。) ※알のㄷパッチムは、未来連体形のㄷパッチムである。」
第Ⅲ活用の使用例	「알아요. (知っています。)」 「멀어요. (遠いです。)」 「오지 마요. (来ないでください。)」 「오지 마. (来るな。)」

3. 하다用言の活用

	意味	する
	基本形	하다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		하
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		하
第Ⅱ活用 … 語幹と同じ。		하
第Ⅲ活用 … 「해」は「하여」の短縮形であり、「하여」より一般的に使われる。		해/하여

하다用言の活用				
意味	感謝する	愛する	勝利する	祈禱する
基本形	감사하다	사랑하다	승리하다	기도하다
第Ⅰ活用	감사하	사랑하	승리하	기도하
第Ⅱ活用	감사하	사랑하	승리하	기도하
第Ⅲ活用	감사해/감사하여	사랑해/사랑하여	승리해/승리하여	기도해/기도하여

하다用言の活用				
意味	訓誡する	許諾する	許す	受け入れる
基本形	훈독하다	허락하다	용서하다	용납하다
第Ⅰ活用	훈독하	허락하	용서하	용납하
第Ⅱ活用	훈독하	허락하	용서하	용납하
第Ⅲ活用	훈독해/훈독하여	허락해/허락하여	용서해/용서하여	용납해/용납하여

4. 으活用(으語幹の活用)

※으語幹とは、母音「ㅡ」で終わっている語幹のこと。

	意味	集める	悲しい
	基本形	모으다	슬프다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		모으	슬프
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		모으	슬프
第Ⅱ活用 … 語幹と同じ。		모으	슬프
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の「ㅡ」母音を持つ文字の、一つ前の文字の母音が陽母音ならば、 語幹の最後の「ㅡ」を取り除いて「ㅓ」をつける。 陰母音ならば、 語幹の最後の「ㅡ」を取り除いて「ㅜ」をつける。 語幹が1文字しかない場合は、 語幹の「ㅡ」を取り除いて「ㅜ」をつける。		모아	슬퍼

으活用						
意味	集める	悲しい	書く	したがう	支払う	至る
基本形	모으다	슬프다	쓰다	따르다	치르다	다다르다
第Ⅰ活用	모으	슬프	쓰	따르	치르	다다르
第Ⅱ活用	모으	슬프	쓰	따르	치르	다다르
第Ⅲ活用	모아	슬퍼	써	따라	치러	다다라

※「르」の文字で終わっている語幹の活用の一覧

- ①으活用(3語)
- ②러変格活用(4語)
- ③残り全て、르変格活用

※「르」の文字で終わっている語幹で、으活用をするのは、따르다(したがう)、치르다(支払う)、다다르다(至る)の3語のみ。

5. ㄹ変格活用

※「ㄹ」の文字で終わっている語幹は、으活用(3語)と
ㄹ変格活用(4語)を除き、全てㄹ変格活用。

	意味	知らない	流れる
	基本形	모르다	흐르다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		모르	흐르
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		모르	흐르
第Ⅱ活用 … 語幹と同じ。		모르	흐르
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の文字「ㄹ」の、一つ前の文字の母音が 陽母音ならば、語幹の最後の文字「ㄹ」→「ㄹ라」。 陰母音ならば、語幹の最後の文字「ㄹ」→「ㄹ러」。		몰라	흘러

6. ㄹ変格活用

※노르다(黄色い)、누르다(黄色い)、푸르다(青い)、이르다(至る)の
4語のみ。

	意味	黄色い
	基本形	노르다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		노르
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		노르
第Ⅱ活用 … 語幹と同じ。		노르
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の文字「ㄹ」 →「ㄹ러」。		노르러

7. ㄷ変格活用

	意味	有難い	難しい
	基本形	고맙다	어렵다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		고맙	어렵
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		고맙	어렵
第Ⅱ活用 … 語幹の最後の「ㄷ」パッチム→「우」。		고마우	어려우
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の「ㄷ」パッチム→「워」 (「곱다」(きれいだ)と「돕다」(手伝う)だけ「와」)。		고마워	어려워

ㄷ変格活用					
意味	有難い	難しい	きれいだ	手伝う	つかむ
基本形	고맙다	어렵다	곱다	돕다	잡다 ※
第Ⅰ活用	고맙	어렵	곱	돕	잡
第Ⅱ活用	고마우	어려우	고우	도우	잡으
第Ⅲ活用	고마워	어려워	고와	도와	잡아

※잡다는正格活用。

変則ㄷ変格活用		
※以下の2語のみ。		
意味	お会いする	うかがう
基本形	뵙다	여쭙다
第Ⅰ活用	뵙	여쭙
第Ⅱ活用	뵈	여쭈
第Ⅲ活用	뵈어	여쭈어

8. ㅎ変格活用

	意味	真っ黄色い	そうだ
	基本形	노랑다	그렇다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		노랑	그렇
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		노랑	그렇
第Ⅱ活用 … 語幹の最後の「ㅎ」パッチムを取り除く。		노라	그러
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の「ㅎ」パッチムを取り除いて、さらに、語幹の最後の母音を「ㅏ」に変える。ただし、語幹の最後の母音が「ㅓ」ならば「ㅕ」に変え、語幹の最後の母音が「ㅗ」ならば「ㅛ」に変える。		노래	그래

ㅎ変格活用					
意味	真っ黄色い	そうだ	真っ白い	不透明だ	よい・好きだ
基本形	노랑다	그렇다	하얗다	부엌다	좋다 ※
第Ⅰ活用	노랑	그렇	하얗	부엌	좋
第Ⅱ活用	노라	그러	하야	부여	좋으
第Ⅲ活用	노래	그래	하애	부예	좋아

※좋다는正格活用。

9. ㄷ変格活用

	意味	駆ける	聞く
	基本形	달다	듣다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		달	듣
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		달	듣
第Ⅱ活用 … 語幹の最後の「ㄷ」パッチムを「ㄷ」に変えて「으」をつける。		달으	듣으
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の母音が 陽母音ならば、 語幹の最後の「ㄷ」パッチムを「ㄷ」に変えて「아」をつける。 陰母音ならば、 語幹の最後の「ㄷ」パッチムを「ㄷ」に変えて「어」をつける。		달아	들어

ㄷ変格活用			
意味	駆ける	聞く	閉める
基本形	달다	듣다	닫다 ※
第Ⅰ活用	달	듣	닫
第Ⅱ活用	달으	듣으	닫으
第Ⅲ活用	달아	들어	닫아

※닫다(閉める)は正格活用。

10. 入変格活用

	意味	治る	作る
	基本形	낫다	짓다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		낫	짓
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		낫	짓
第Ⅱ活用 … 語幹の最後の「入」パッチムを取り除いて「으」をつける。		나으	지으
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の母音が 陽母音ならば、 語幹の最後の「入」パッチムを取り除いて「아」をつける。 陰母音ならば、 語幹の最後の「入」パッチムを取り除いて「어」をつける。		나아	지어

入変格活用			
意味	治る	作る	笑う
基本形	낫다	짓다	웃다 ※
第Ⅰ活用	낫	짓	웃
第Ⅱ活用	나으	지으	웃으
第Ⅲ活用	나아	지어	웃어

※웃다는正格活用。

11. ㅏ 変格活用

	意味	そうする
	基本形	그리다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		그리
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		그리
第Ⅱ活用 … 語幹と同じ。		그리
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の母音を「ㅐ」に変える。		그래

ㅏ 変格活用				
意味	そうする	こうする	ああする	どうする
基本形	그리다	이러다	저러다	어쩌다
第Ⅰ活用	그리	이러	저러	어쩌
第Ⅱ活用	그리	이러	저러	어쩌
第Ⅲ活用	그래	이래	저래	어쩌

12. ㄷ変格活用

※ㅍ다(汲む)の1語のみ。

	意味	汲む
	基本形	푸다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		푸
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		푸
第Ⅱ活用 … 語幹と同じ。		푸
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の「ㄷ」を取り除いて「ㅍ」をつける。		퍼

13. 第Ⅲ活用の短縮形

以下の場合、第Ⅲ活用の短縮形を持つ。

	通常 of 形	短縮形
語幹の最後の母音が「ㅅ」である場合 … 【例】내다(出す)の第Ⅲ活用 →	내어	내
語幹の最後の母音が「ㅈ」である場合 … 【例】세다(数える)の第Ⅲ活用 →	세어	세
語幹の最後の母音が「ㅊ」である場合 … 【例】되다(~になる)の第Ⅲ活用 →	되어	돼

14. 指定詞の用言(「이다」・「아니다」)の活用
 (正格活用(母音語幹の活用)と、ほぼ同じ)

	意味	である	でない
	基本形	이다	아니다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		이	아니
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		이	아니
第Ⅱ活用 … 母音語幹なので、語幹と同じ。		이	아니
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の母音が陰母音なので、語幹+「어」。{使用例: 밥이 아니었다} ただし、「이다」の場合、 母音で終わっている言葉の後では「여」。{使用例: 김치였다} 子音(パッチム)で終わっている言葉の後では「이어」。{使用例: 밥이었다} また、後ろに丁寧な語尾「ㅁ-요」が来るとき、 「이다」の場合、 母音で終わっている言葉の後では「예」。{使用例: 김치예요} 子音(パッチム)で終わっている言葉の後では「이에」。{使用例: 밥이에요} 「아니다」の場合、「아나에」。{使用例: 밥이 아니예요} また、後ろに用言語尾「ㅁ-서」・用言語尾「ㅁ-도」が来るとき、 「이다」の場合、「이라」(母音で終わっている言葉の後では、 指定詞の語幹이が省略されることがある)。 {使用例: 김치라서, 김치라도, 밥이라서, 밥이라도} 「아니다」の場合、「아나라」。{使用例: 밥이 아니라서, 밥이 아니라도} また、ぞんざいな形(解体)の「ㅁ」で終わるとき、 「이다」の場合、 母音で終わっている言葉の後では「야」。{使用例: 김치야} 子音(パッチム)で終わっている言葉の後では「이야」。{使用例: 밥이야} 「아니다」の場合、「아나야」。{使用例: 밥이 아니야}		여/이어 (예/이에/ 이라/ 이야)	아니어 (아니에/ 아니라/ 아니야)

15. 存在詞の用言(「있다」・「없다」)の活用
 (正格活用(子音語幹の活用)と同じ)

	意味	ある・いる	ない・いない
	基本形	있다	없다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		있	없
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		있	없
第Ⅱ活用 … 子音語幹なので、語幹+「으」。		있으	없으
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の母音が陰母音なので、語幹+「어」。		있어	없어

16. 尊敬語幹の活用

(正格活用(母音語幹の活用)と、ほぼ同じ)

	意味	~られる(尊敬)
	基本形	Ⅱ－시다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		Ⅱ－시
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		Ⅱ－시
第Ⅱ活用 … 母音語幹なので、語幹と同じ。		Ⅱ－시
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の母音が陰母音なので、語幹「시」+「어」→「셔」。 ただし、後ろに丁寧な語尾「Ⅲ－요」が来るときは「세」も可。 {使用例：드세요. (召し上がってください。)}		Ⅱ－셔/세

尊敬語幹			
意味	~られる(尊敬)	見られる	受けられる
基本形	~시다 (Ⅱ－시다)	보시다	받으시다
第Ⅰ活用	~시 (Ⅱ－시)	보시	받으시
第Ⅱ活用	~시 (Ⅱ－시)	보시	받으시
第Ⅲ活用	~셔 (Ⅱ－셔)	보셔	받으셔

※尊敬オプション：「Ⅱ－시－」

17. 過去語幹の活用

	意味	~た・した(過去)
	基本形	Ⅲ－쓰다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		Ⅲ－쓰
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		Ⅲ－쓰
第Ⅱ活用 … 子音語幹なので、語幹+「으」。		Ⅲ－쓰으
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の文字「쓰」に母音が無い(すなわち、語幹の最後の母音が陰母音である)とみなして、語幹+「어」。		Ⅲ－쓰어

過去語幹			
意味	~た・した(過去)	見た	受けた
基本形	~쓰다 (Ⅲ－쓰다)	보았다	받았다
第Ⅰ活用	~쓰 (Ⅲ－쓰)	보았	받았
第Ⅱ活用	~쓰으 (Ⅲ－쓰으)	보았으	받았으
第Ⅲ活用	~쓰어 (Ⅲ－쓰어)	보았어	받았어

※過去オプション : 「Ⅲ－ㅏ－」

18. 意志語幹の活用

(正格活用(子音語幹の活用)と同じ)

	意味	~する(意志)
	基本形	I - 겠다
語幹 … 基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。		I - 겠
第Ⅰ活用 … 語幹と同じ。		I - 겠
第Ⅱ活用 … 子音語幹なので、語幹+「으」。		I - 겠으
第Ⅲ活用 … 語幹の最後の母音が陰母音なので、語幹+「어」。		I - 겠어

意志語幹			
意味	~する(意志)	見る	受ける
基本形	~겠다 (I - 겠다)	보겠다	받겠다
第Ⅰ活用	~겠 (I - 겠)	보겠	받겠
第Ⅱ活用	~겠으 (I - 겠으)	보겠으	받겠으
第Ⅲ活用	~겠어 (I - 겠어)	보겠어	받겠어

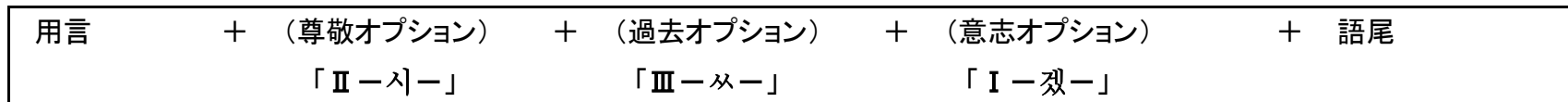
※意志オプション : 「I - 겠-」

★語尾表現による作文例

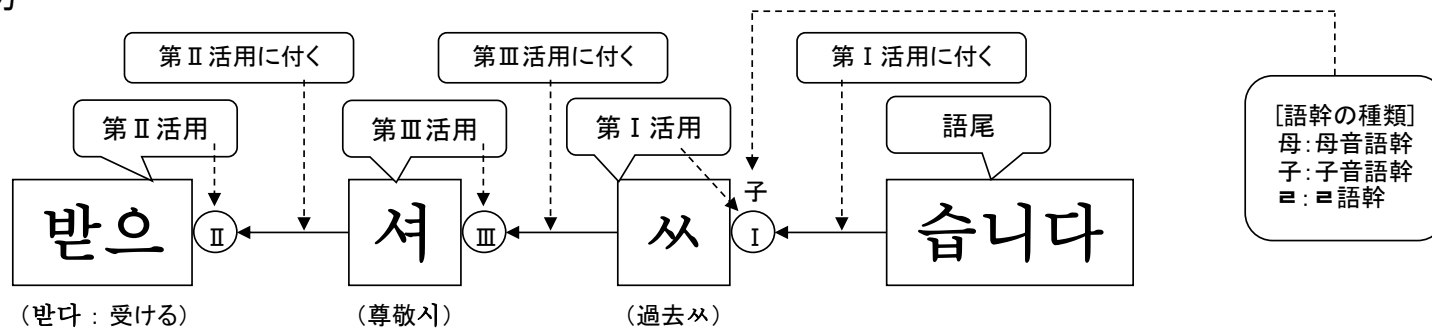
※語尾表現による作文の手順

1. 作文の元になる日本語の文章を分析する
2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる
3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

※「用言」「オプション」「語尾」の連結順

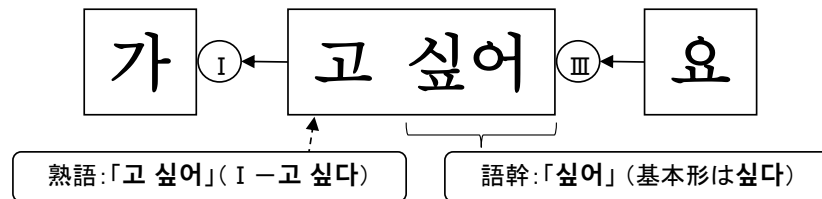


※図の見方



※注意事項

語尾表現に熟語が含まれる場合、本来、活用するのは語幹のみだが、分かりやすさを優先して、熟語単位で活用するように表記した。



★語尾表現による作文例（例1）

1. 「受けます」の作文

1-1. 作文の元になる日本語の文章「受けます」を分析する

1-1-1. 「受け」→「受ける」→「用言(받다)」

1-1-2. 「ます」→ 丁寧な語尾 →「합니다体の丁寧な語尾(I(子音語幹)-습니다)」

1-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

1-2-1. 語尾表現

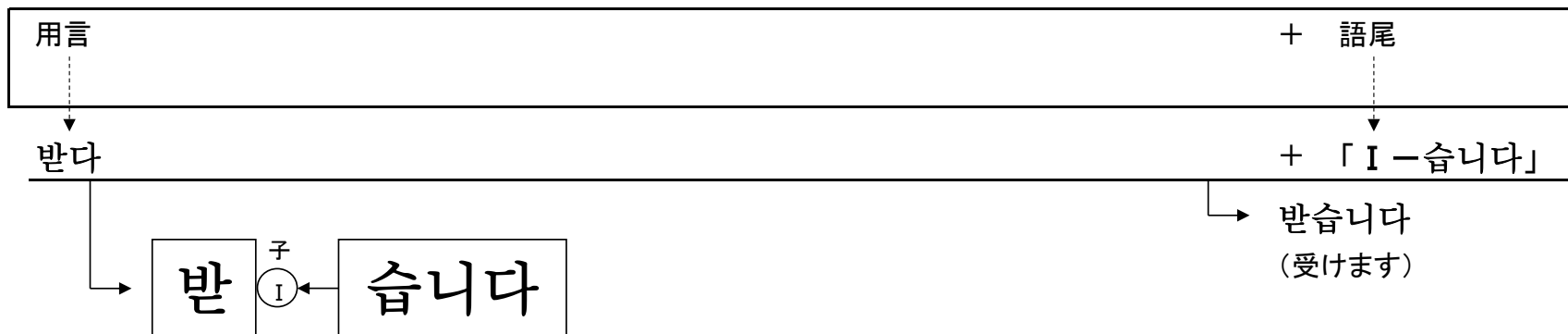
「받다」+「 I(子音語幹)-습니다」

1-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

1-3-1. 「받다」→「받습니다」

「받다」の後に「 I(子音語幹)-습니다」を付けるために、「받다」を第 I 活用「받」に活用させ、その「받」の後に「습니다」を付ける

1-3-2. 「受けます」の作文の結果 →「받습니다」



★語尾表現による作文例（例2）

2. 「受けられます」の作文

2-1. 作文の元になる日本語の文章「受けられます」を分析する

2-1-1. 「受け」→「受ける」→「用言(받다)」

2-1-2. 「られ」→ 尊敬 →「尊敬オプション(Ⅱ-시-)」

2-1-3. 「ます」→ 丁寧な語尾 →「합니다体の丁寧な語尾(Ⅱ(母音語幹・ㄷ語幹)-ㅂ니다)」

2-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

2-2-1. 語尾表現

「받다」+「Ⅱ-시-」+「Ⅱ(母音語幹・ㄷ語幹)-ㅂ니다」

2-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

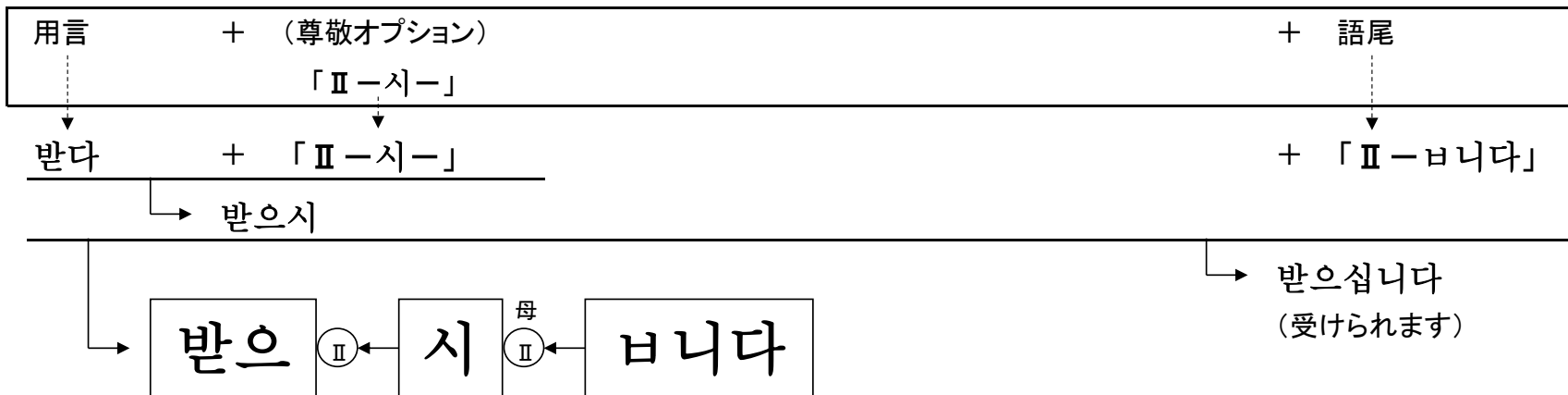
2-3-1. 「받다」→「받으시」

「받다」の後に「Ⅱ-시-」を付けるために、「받다」を第Ⅱ活用「받으」に活用させ、その「받으」の後に「시」を付ける

2-3-2. 「받으시」→「받으십니다」

「받으시」の後に「Ⅱ(母音語幹・ㄷ語幹)-ㅂ니다」を付けるために、「받으시」を第Ⅱ活用「받으시」に活用させ、その「받으시」の後に「ㅂ니다」を付ける

2-3-3. 「受けられます」の作文の結果 →「받으십니다」



★語尾表現による作文例（例3）

3. 「受けました」の作文

3-1. 作文の元になる日本語の文章「受けました」を分析する

3-1-1. 「受け」→「受ける」→「用言(받다)」

3-1-2 「まし」→丁寧な語尾 →「합니다体の丁寧な語尾(Ⅰ(子音語幹)-습니다)」

3-1-3. 「た」→過去 →「過去オプション(Ⅲ-ㅂ-)」

3-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

3-2-1. 語尾表現

「받다」+「Ⅲ-ㅂ-」+「Ⅰ(子音語幹)-습니다」

3-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

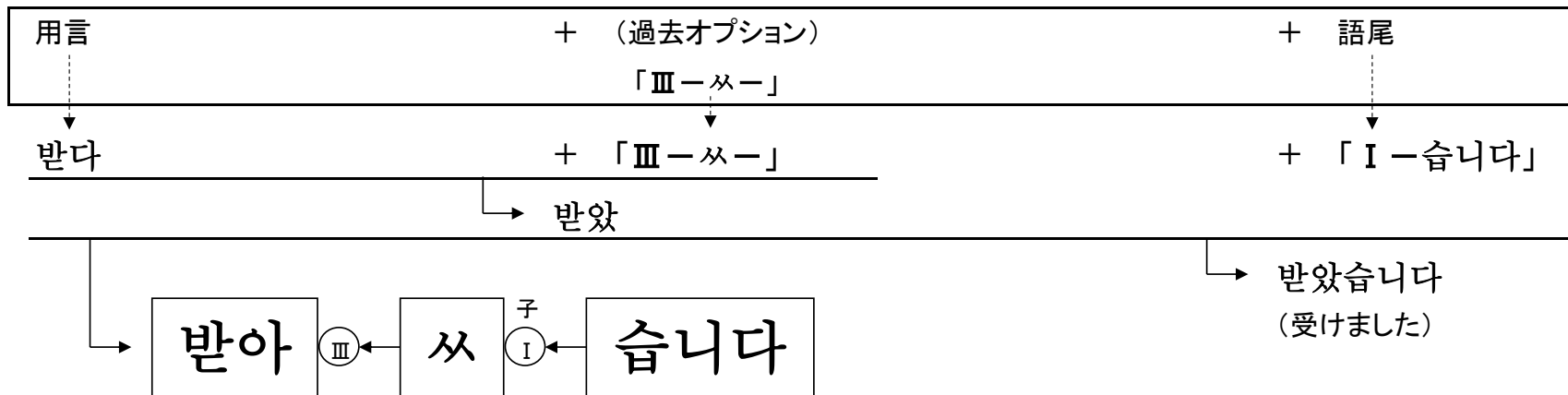
3-3-1. 「받다」→「받았」

「받다」の後に「Ⅲ-ㅂ-」を付けるために、「받다」を第Ⅲ活用「받아」に活用させ、その「받아」の後に「ㅂ」を付ける

3-3-2. 「받았」→「받았습니다」

「받았」の後に「Ⅰ(子音語幹)-습니다」を付けるために、「받았」を第Ⅰ活用「받았」に活用させ、その「받았」の後に「습니다」を付ける

3-3-3. 「受けました」の作文の結果 →「받았습니다」



★語尾表現による作文例（例4）

4. 「受けます」(意志)の作文

4-1. 作文の元になる日本語の文章「受けます」(意志)を分析する

4-1-1. 「受け」→「受ける」→「用言(받다)」

4-1-2. 「ます」→ 意志 & 丁寧な語尾 →「意志オプション(I-겠-)&「합니다」体の丁寧な語尾(I(子音語幹)-습니다)」

4-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

4-2-1. 語尾表現

「받다」+「I-겠-」+「I(子音語幹)-습니다」

4-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

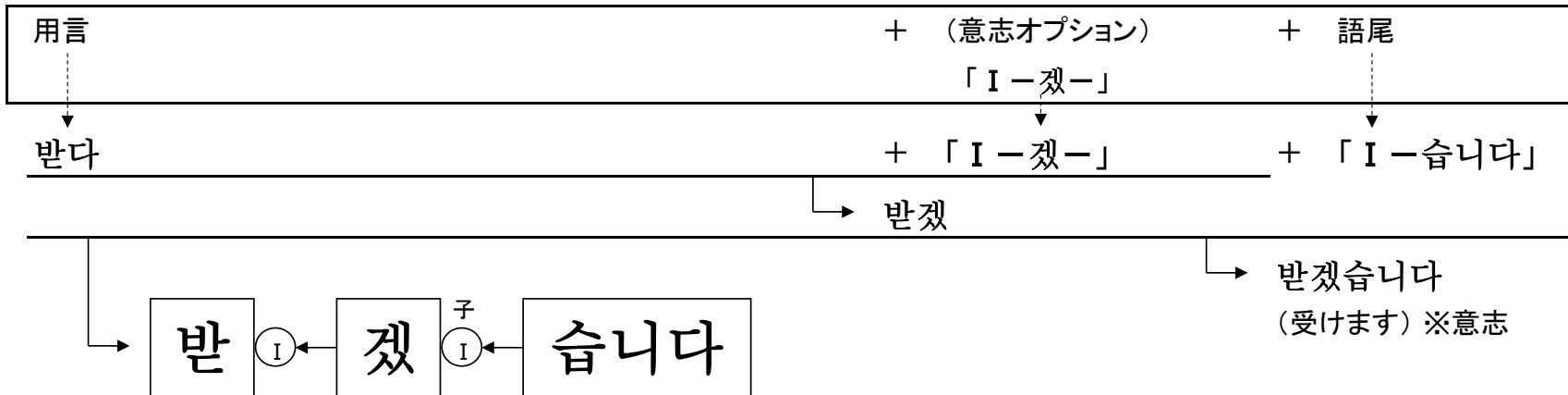
4-3-1. 「받다」→「받겠」

「받다」の後に「I-겠-」を付けるために、「받다」を第I活用「받」に活用させ、その「받」の後に「겠」を付ける

4-3-2. 「받겠」→「받겠습니다」

「받겠」の後に「I(子音語幹)-습니다」を付けるために、「받겠」を第I活用「받겠」に活用させ、その「받겠」の後に「습니다」を付ける

4-3-3. 「受けます」(意志)の作文の結果 →「받겠습니다」



★語尾表現による作文例（例5）

5. 「受けられました」の作文

5-1. 作文の元になる日本語の文章「受けられました」を分析する

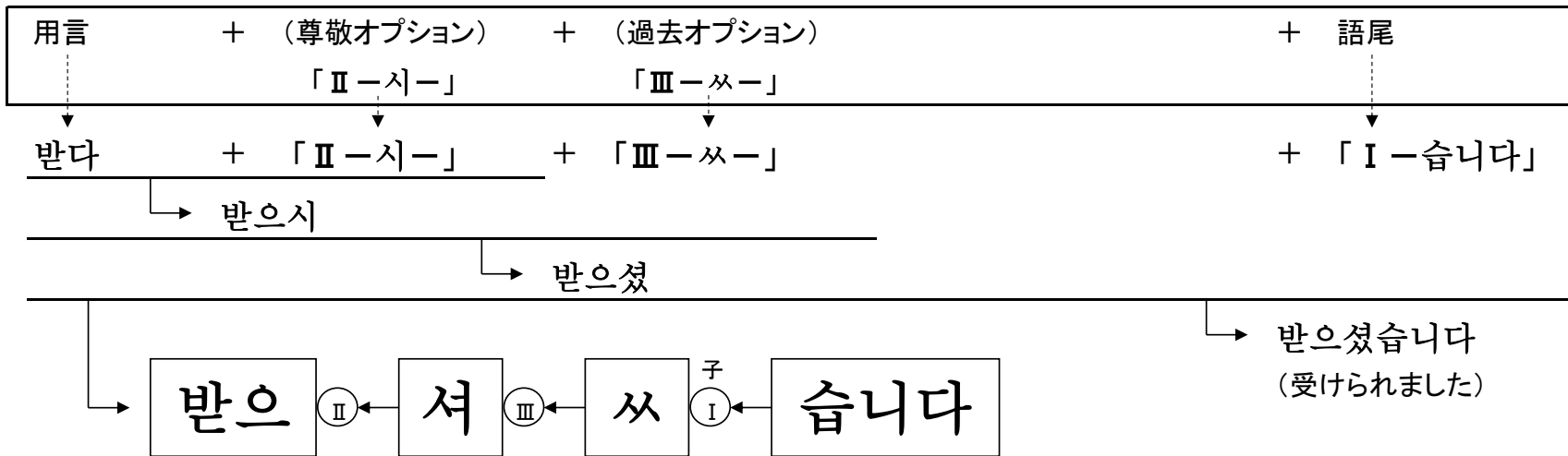
- 5-1-1. 「受け」→「受ける」→「用言(받다)」
- 5-1-2. 「られ」→ 尊敬 →「尊敬オプション(Ⅱ-시-)」
- 5-1-3. 「まし」→ 丁寧な語尾 →「합니다体の丁寧な語尾(Ⅰ(子音語幹)-습니다)」
- 5-1-4. 「た」→ 過去 →「過去オプション(Ⅲ-ㅂ-)」

5-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

- 5-2-1. 語尾表現
「받다」+「Ⅱ-시-」+「Ⅲ-ㅂ-」+「Ⅰ(子音語幹)-습니다」

5-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

- 5-3-1. 「받다」→「받으시」
「받다」の後に「Ⅱ-시-」を付けるために、「받다」を第Ⅱ活用「받으」に活用させ、その「받으」の後に「시」を付ける
- 5-3-2. 「받으시」→「받으셨」
「받으시」の後に「Ⅲ-ㅂ-」を付けるために、「받으시」を第Ⅲ活用「받으셔」に活用させ、その「받으셔」の後に「ㅂ」を付ける
- 5-3-3. 「받으셨」→「받으셨습니다」
「받으셨」の後に「Ⅰ(子音語幹)-습니다」を付けるために、「받으셨」を第Ⅰ活用「받으셨」に活用させ、その「받으셨」の後に「습니다」を付ける
- 5-3-4. 「受けられました」の作文の結果 →「받으셨습니다」



★語尾表現による作文例（例6）

6. 「受けられます」(意志)の作文

6-1. 作文の元になる日本語の文章「受けられます」(意志)を分析する

6-1-1. 「受け」→「受ける」→「用言(받다)」

6-1-2. 「られ」→ 尊敬 →「尊敬オプション(Ⅱ-시-)」

6-1-3. 「ます」→ 意志 & 丁寧な語尾 →「意志オプション(Ⅰ-겠-)」&「합니다」体の丁寧な語尾(Ⅰ(子音語幹)-습니다)」

6-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

6-2-1. 語尾表現

「받다」+「Ⅱ-시-」+「Ⅰ-겠-」+「Ⅰ(子音語幹)-습니다」

6-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

6-3-1. 「받다」→「받으시」

「받다」の後に「Ⅱ-시-」を付けるために、「받다」を第Ⅱ活用「받으」に活用させ、その「받으」の後に「시」を付ける

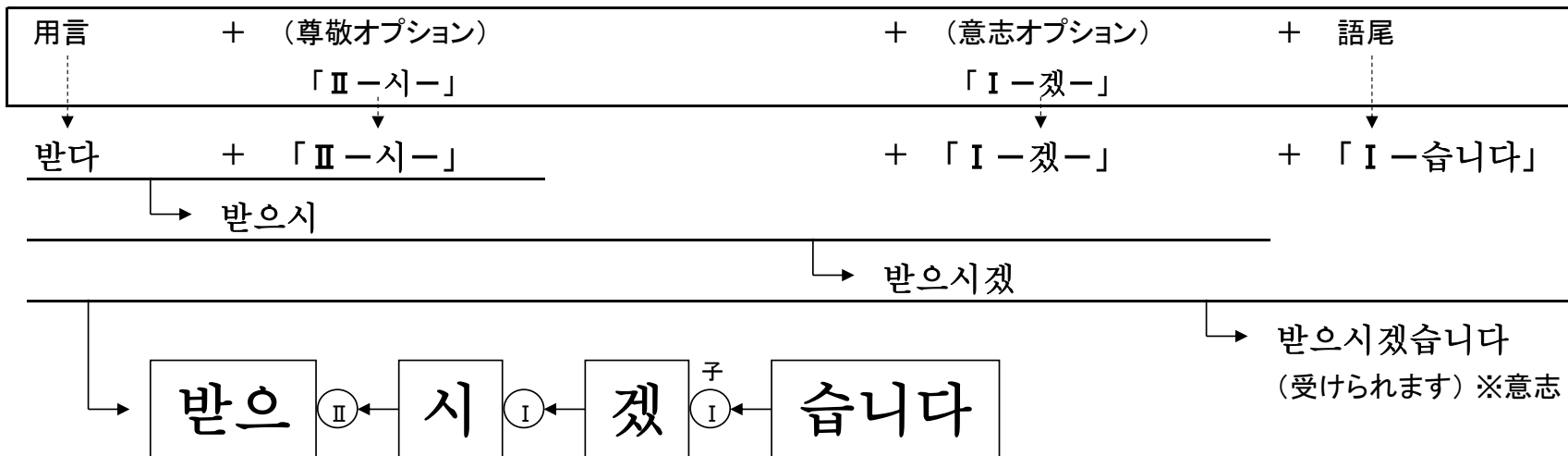
6-3-2. 「받으시」→「받으시겠」

「받으시」の後に「Ⅰ-겠-」を付けるために、「받으시」を第Ⅰ活用「받으시」に活用させ、その「받으시」の後に「겠」を付ける

6-3-3. 「받으시겠」→「받으시겠습니까」

「받으시겠」の後に「Ⅰ(子音語幹)-습니다」を付けるために、「받으시겠」を第Ⅰ活用「받으시겠」に活用させ、その「받으시겠」の後に「습니다」を付ける

6-3-4. 「受けられます」(意志)の作文の結果 →「받으시겠습니까」



★語尾表現による作文例（例7）

7. 「受けたでしょう」(推量)の作文

7-1. 作文の元になる日本語の文章「受けたでしょう」(推量)を分析する

7-1-1. 「受け」→「受ける」→「用言(받다)」

7-1-2. 「た」→ 過去 →「過去オプション(Ⅲ-ㅏ-)」

7-1-3. 「でしょう」→ 推量 & 丁寧な語尾 →「意志オプション(I-ㄹ-)」&「합니다体の丁寧な語尾(I(子音語幹)-습니다)」

7-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

7-2-1. 語尾表現

「받다」+「Ⅲ-ㅏ-」+「I-ㄹ-」+「I(子音語幹)-습니다」

7-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

7-3-1. 「받다」→「받았」

「받다」の後に「Ⅲ-ㅏ-」を付けるために、「받다」を第Ⅲ活用「받아」に活用させ、その「받아」の後に「ㅏ」を付ける

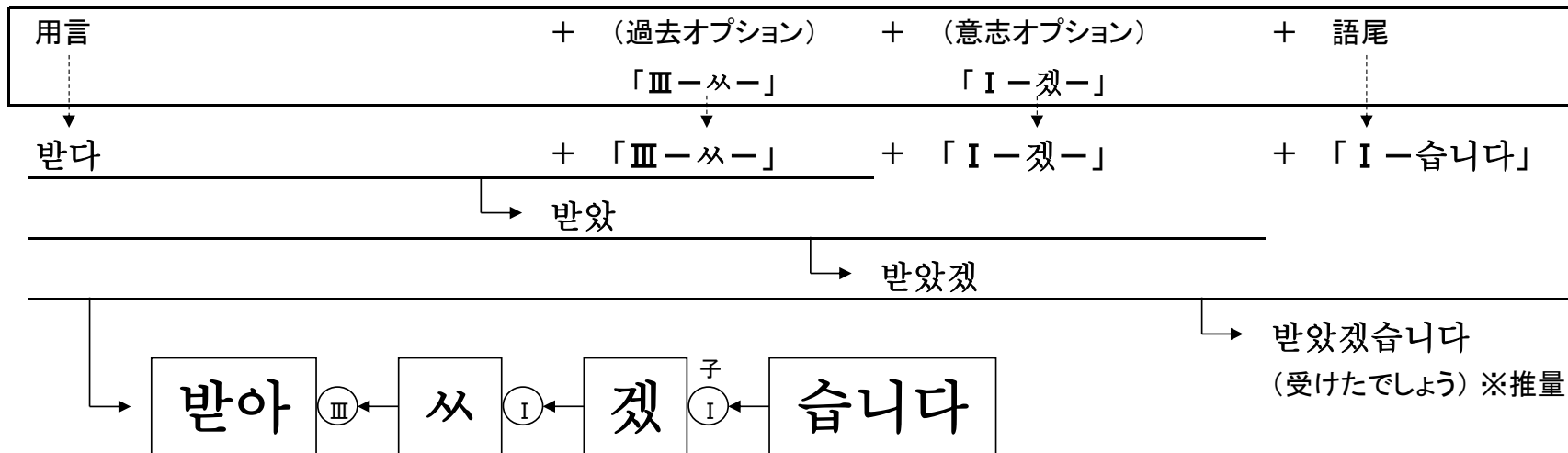
7-3-2. 「받았」→「받았ㄹ」

「받았」の後に「I-ㄹ-」を付けるために、「받았」を第Ⅰ活用「받았」に活用させ、その「받았」の後に「ㄹ」を付ける

7-3-3. 「받았ㄹ」→「받았ㄹ습니다」

「받았ㄹ」の後に「I(子音語幹)-습니다」を付けるために、「받았ㄹ」を第Ⅰ活用「받았ㄹ」に活用させ、その「받았ㄹ」の後に「습니다」を付ける

7-3-4. 「受けたでしょう」(推量)の作文の結果 →「받았ㄹ습니다」



★語尾表現による作文例（例9）

9. 「行きたいです」の作文

9-1. 作文の元になる日本語の文章「行きたいです」を分析する

9-1-1. 「行き」→「行く」→「用言(가다)」

9-1-2. 「たい」→「～したい(Ⅰ-고 싶다)」

9-1-3. 「です」→丁寧な語尾 →「해요体の丁寧な語尾(Ⅲ-요)」

9-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

9-2-1. 語尾表現

「가다」+「Ⅰ-고 싶다」+「Ⅲ-요」

9-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

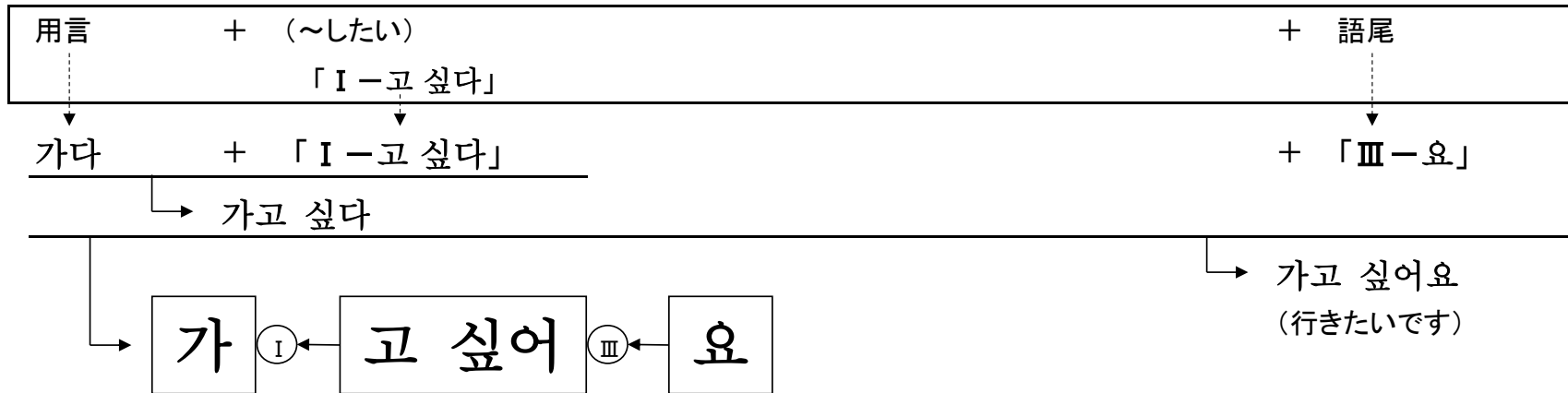
9-3-1. 「가다」→「가고 싶다」

「가다」の後に「Ⅰ-고 싶다」を付けるために、「가다」を第Ⅰ活用「가」に活用させ、その「가」の後に「고 싶다」を付ける

9-3-2. 「가고 싶다」→「가고 싶어요」

「가고 싶다」の後に「Ⅲ-요」を付けるために、「가고 싶다」を第Ⅲ活用「가고 싶어」に活用させ、その「가고 싶어」の後に「요」を付ける

9-3-3. 「行きたいです」の作文の結果 →「가고 싶어요」



★語尾表現による作文例（例10）

10. 「勝利できます」の作文

10-1. 作文の元になる日本語の文章「勝利できます」を分析する

10-1-1. 「勝利」→「勝利する」→「用言(승리하다)」

10-1-2. 「できる」→「～することができる(Ⅱ-ㄴ 수 있다)」

10-1-3. 「ます」→丁寧な語尾 →「해요体の丁寧な語尾(Ⅲ-요)」

10-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

10-2-1. 語尾表現

「승리하다」+「Ⅱ-ㄴ 수 있다」+「Ⅲ-요」

10-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

10-3-1. 「승리하다」→「승리할 수 있다」

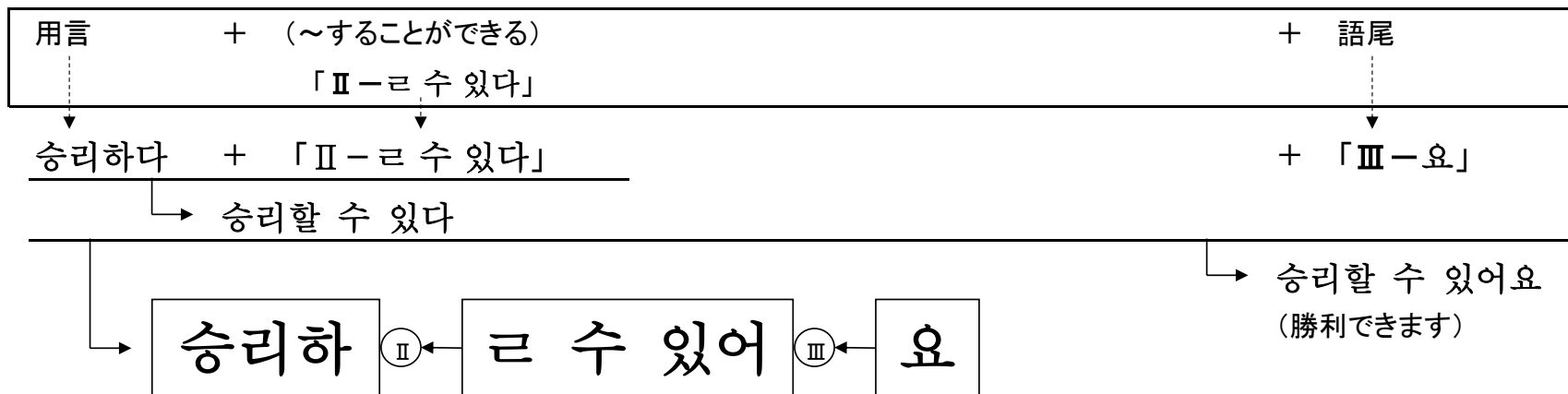
「승리하다」の後に「Ⅱ-ㄴ 수 있다」を付けるために、「승리하다」を第Ⅱ活用「승리하」に活用させ、その「승리하」の後に「ㄴ 수 있다」を付ける

10-3-2. 「승리할 수 있다」→「승리할 수 있어요」

「승리할 수 있다」の後に「Ⅲ-요」を付けるために、「승리할 수 있다」を第Ⅲ活用「승리할 수 있어」に活用させ、

その「승리할 수 있어」の後に「요」を付ける

10-3-3. 「勝利できます」の作文の結果 →「승리할 수 있어요」



★語尾表現による作文例（例11）

11. 「来られる予定です」の作文

11-1. 作文の元になる日本語の文章「来られる予定です」を分析する

11-1-1. 「来」→「来る」→「用言(오다)」

11-1-2. 「られる」→ 尊敬 →「尊敬オプション(Ⅱ-시-)」

11-1-3. 「予定です」→「~する予定だ(Ⅱ-ㄹ 예정이다)」&「합니다体の丁寧な語尾(Ⅱ(母音語幹・ㄹ語幹)-ㅂ니다)」

11-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

11-2-1. 語尾表現

「오다」+「Ⅱ-시-」+「Ⅱ-ㄹ 예정이다」+「Ⅱ(母音語幹・ㄹ語幹)-ㅂ니다」

11-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

11-3-1. 「오다」→「오시」

「오다」の後に「Ⅱ-시-」を付けるために、「오다」を第Ⅱ活用「오」に活用させ、その「오」の後に「시」を付ける

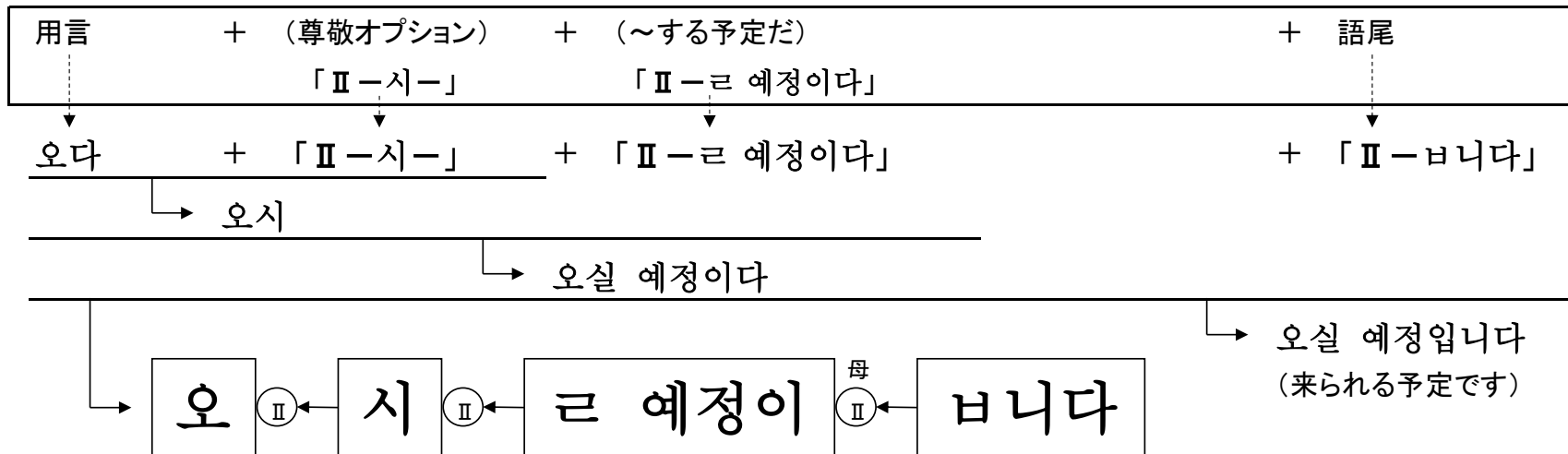
11-3-2. 「오시」→「오실 예정이다」

「오시」の後に「Ⅱ-ㄹ 예정이다」を付けるために、「오시」を第Ⅱ活用「오시」に活用させ、その「오시」の後に「ㄹ 예정이다」を付ける

11-3-3. 「오실 예정이다」→「오실 예정입니다」

「오실 예정이다」の後に「Ⅱ(母音語幹・ㄹ語幹)-ㅂ니다」を付けるために、「오실 예정이다」を第Ⅱ活用「오실 예정이」に活用させ、その「오실 예정이」の後に「ㅂ니다」を付ける

11-3-4. 「来られる予定です」の作文の結果 →「오실 예정입니다」



★語尾表現による作文例（例12）

12. 「来たようです」の作文

12-1. 作文の元になる日本語の文章「来たようです」を分析する

12-1-1. 「来」→「来る」→「用言(오다)」

12-1-2. 「た」→ 過去 →「過去オプション(Ⅲ-ㅁ-)」

12-1-3. 「よう」→「(未来連体形) Ⅱ-ㄷ」&「~ようだ(連体形 것 같다)」

12-1-4. 「です」→ 丁寧な語尾 →「합니다体の丁寧な語尾(Ⅰ(子音語幹)-습니다)」

12-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

12-2-1. 語尾表現

「오다」+「Ⅲ-ㅁ-」+「Ⅱ-ㄷ」+「連体形 것 같다」+「Ⅰ(子音語幹)-습니다」

12-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

12-3-1. 「오다」→「왔」

「오다」の後に「Ⅲ-ㅁ-」を付けるために、「오다」を第Ⅲ活用「와」に活用させ、その「와」の後に「ㅁ」を付ける

12-3-2. 「왔」→「왔을」

「왔」の後に「Ⅱ-ㄷ」を付けるために、「왔」を第Ⅱ活用「왔으」に活用させ、その「왔으」の後に「ㄷ」を付ける

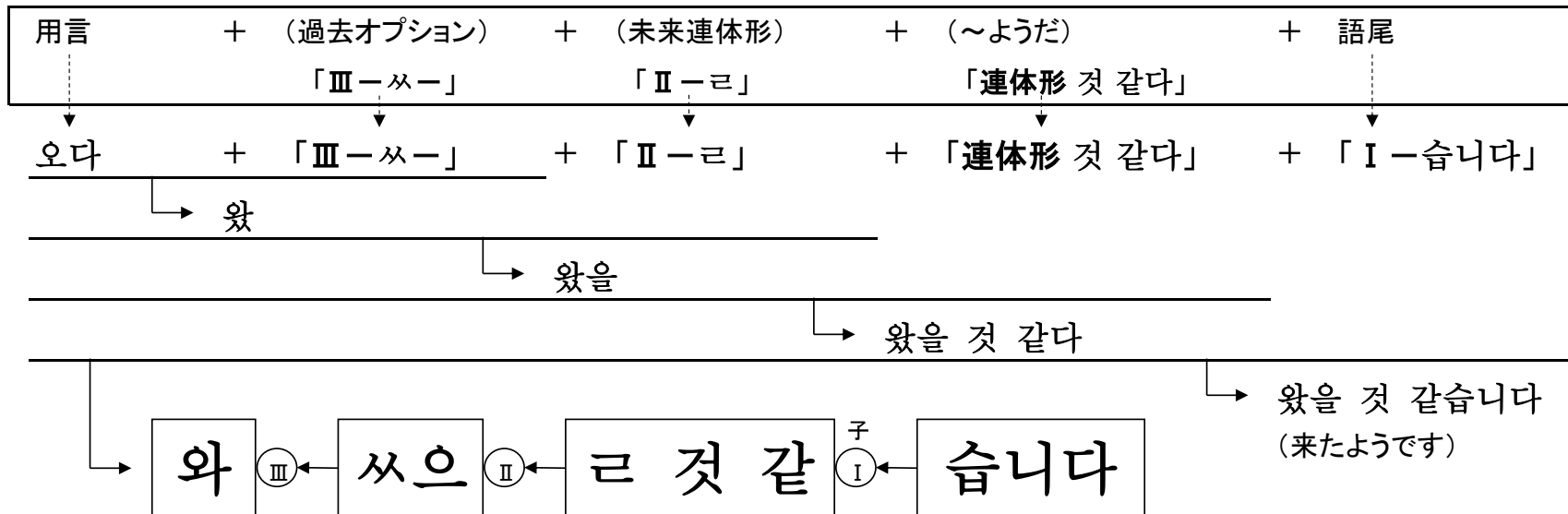
12-3-3. 「왔을」→「왔을 것 같다」

「왔을」の後に「連体形 것 같다」を付ける(「왔을」の後に「것 같다」を付ける)

12-3-4. 「왔을 것 같다」→「왔을 것 같습니다」

「왔을 것 같다」の後に「Ⅰ(子音語幹)-습니다」を付けるために、「왔을 것 같다」を第Ⅰ活用「왔을 것 같」に活用させ、その「왔을 것 같」の後に「습니다」を付ける

12-3-5. 「来たようです」の作文の結果 →「왔을 것 같습니다」



★語尾表現による作文例（例13）

13. 「来られたでしょう」の作文

13-1. 作文の元になる日本語の文章「来られたでしょう」を分析する

13-1-1. 「来」→「来る」→「用言(オダ)」

13-1-2. 「られ」→ 尊敬 →「尊敬オプション(Ⅱ-시-)」

13-1-3. 「た」→ 過去 →「過去オプション(Ⅲ-ㅁ-)」

13-1-4. 「でしょう」→ 推量&丁寧な語尾 →「~だろう(Ⅱ-ㄹ 것이다)」&「합니다体の丁寧な語尾(Ⅱ(母音語幹・ㄹ語幹)-ㅂ니다)」

13-2. 日本語の文章の分析結果から語尾表現を組み立てる

13-2-1. 語尾表現

「오다」+「Ⅱ-시-」+「Ⅲ-ㅁ-」+「Ⅱ-ㄹ 것이다」+「Ⅱ(母音語幹・ㄹ語幹)-ㅂ니다」

13-3. 組み立てた語尾表現の各要素(用言、オプション、熟語)を活用させながら連結する

13-3-1. 「오다」→「오시」

「오다」の後に「Ⅱ-시-」を付けるために、「오다」を第Ⅱ活用「오」に活用させ、その「오」の後に「시」を付ける

13-3-2. 「오시」→「오셨」

「오시」の後に「Ⅲ-ㅁ-」を付けるために、「오시」を第Ⅲ活用「오셔」に活用させ、その「오셔」の後に「ㅁ」を付ける

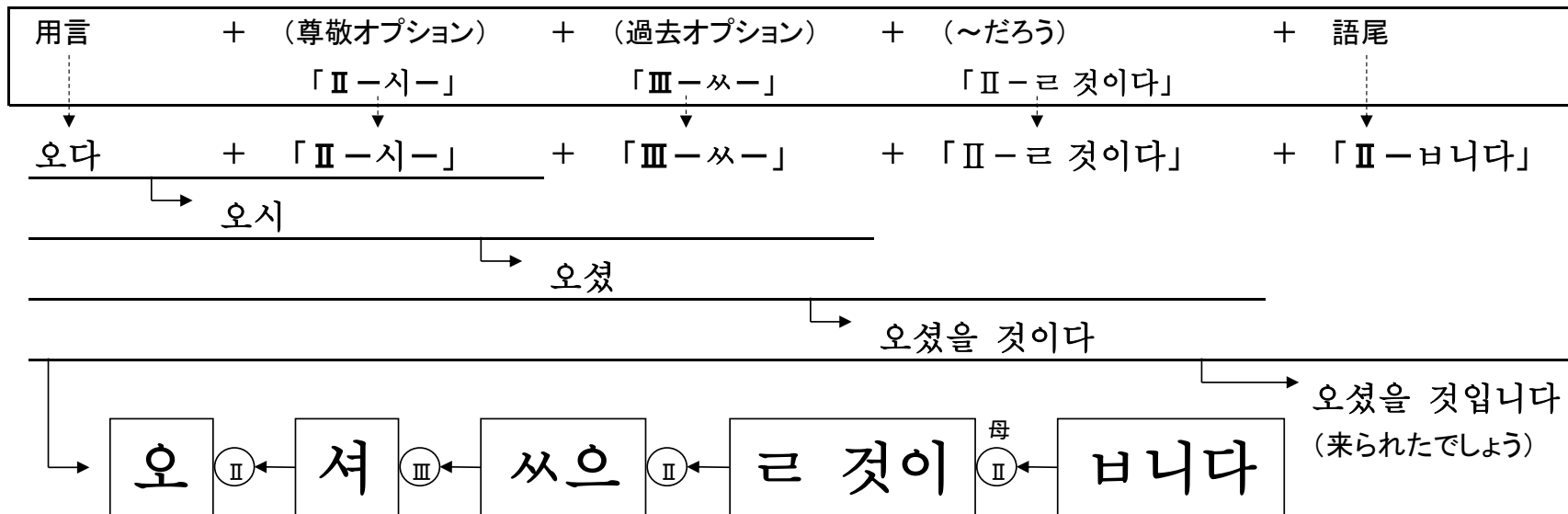
13-3-3. 「오셨」→「오셨을 것이다」

「오셨」の後に「Ⅱ-ㄹ 것이다」を付けるために、「오셨」を第Ⅱ活用「오셨으」に活用させ、その「오셨으」の後に「ㄹ 것이다」を付ける

13-3-4. 「오셨을 것이다」→「오셨을 것입니다」

「오셨을 것이다」の後に「Ⅱ(母音語幹・ㄹ語幹)-ㅂ니다」を付けるために、「오셨을 것이다」を第Ⅱ活用「오셨을 것이」に活用させ、その「오셨을 것이」の後に「ㅂ니다」を付ける

13-3-5. 「来られたでしょう」の作文の結果 →「오셨을 것입니다」



第5章 基本表現

5-1. <Ⅲ-요 : ~です・ます / ~ですか・ますか / ~してください / ~しましょう>

番号	例 文 ([]の中は発音)			
1	축복을 <u>받</u> 아요? [축 <u>뽀</u> 글 바 <u>다</u> 요?] 祝福 を 受けますか			
	예, <u>받</u> 아요. [예, 바 <u>다</u> 요.] はい 受けます			
2	무엇을 <u>떡</u> 어요? [무어 <u>슬</u> <u>머</u> 거요?] 何 を 食べますか			
	냉 <u>명</u> 을 <u>떡</u> 어요. [냉 <u>명</u> 을 <u>머</u> 거요.] 冷麵 を 食べます			
大 切 な と こ ろ ([]の中は発音)				
<Ⅲ-요 : ~です・ます / ~ですか・ますか / ~してください / ~しましょう>				
좋다 → 第Ⅲ活用は「 좋아 」	야구가 좋아요.	[야구가 조아요.]	野球が好きです。	
	축구도 좋아요?	[축구도 조아요?]	サッカーも好きですか。	
싫다 → 第Ⅲ活用は「 싫어 」	비가 싫어요.	[비가 시러요.]	雨が嫌いです。	
	눈은 싫어요?	[눈은 시러요?]	雪は嫌いですか。	
걸다 → 第Ⅲ活用は「 걸어 」	전화를 걸어요.	[저놔를 거러요.]	電話をかけます。	
	목숨을 걸어요?	[목쭈믈 거러요?]	命をかけますか。	
하다 → 第Ⅲ活用は「 해 」	지금 해요.	[지금 해요.]	今します。	※平叙文
	어떻게 해요?	[어떠케 해요?]	どのようにしますか。	※疑問文
	빨리 해요.	[빨리 해요.]	早くしてください。	※命令文
	같이 해요.	[가치 해요.]	いっしょにしましょう。	※勧誘文

第5章 基本表現

5-3. <Ⅲ-ㄴ습니다 : ~たです・ました> <Ⅲ-ㄴ습니까 : ~たですか・ましたか>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	국밥을 먹었습니까? [국빠블 머저썸니까?] クツパ を 食べましたか
	예, 먹었습니다. [예, 머저썸니다.] はい 食べました
2	어디에 갔습니까? [어디에 가썸니까?] どこ に 行きましたか
	일본에 갔습니다. [일보네 가썸니다.] 日本 に 行きました

大切なところ ([]の中は発音)

<Ⅲ-ㄴ습니다 : ~たです・ました> <Ⅲ-ㄴ습니까 : ~たですか・ましたか>

받다 → 第Ⅲ活用は「받아」	받았습니다.	[바다썸니다.]	受けました。
	받았습니까?	[바다썸니까?]	受けましたか。
좋다 → 第Ⅲ活用は「좋아」	좋았습니다.	[조아썸니다.]	よかったです。
	좋았습니까?	[조아썸니까?]	よかったですか。
멀다 → 第Ⅲ活用は「멀어」	멀었습니다.	[머리썸니다.]	遠かったです。
	멀었습니까?	[머리썸니까?]	遠かったですか。
마시다 → 第Ⅲ活用は「마셔」	마셨습니다.	[마셔썸니다.]	飲みました。
	마셨습니까?	[마셔썸니까?]	飲みましたか。
하다 → 第Ⅲ活用は「해」	했습니다.	[해썸니다.]	しました。
	했습니까?	[해썸니까?]	しましたか。

「ㄴ습니다」は、過去のオプション「Ⅲ-ㄴ-」に「습니다」がついた形。

第5章 基本表現

5-4. <~なかったです・しませんでした> <~できませんでした>

番号	例 文 ([]の中は発音)		
1	<u>춥지 않았습니까?</u> [춥찌 아나썸니까?] <small>寒くなかったですか</small>	「않았습니다」は、 基本形「않다」 (～ない・しない) の第Ⅲ活用「않아」に 過去のオプション 「Ⅲ-ㅁ-」がつき、 その後に 「습니다」がついた形。	「못했습니다」は、 基本形「못하다」 (～できない) の第Ⅲ活用「못해」に 過去のオプション 「Ⅲ-ㅁ-」がつき、 その後に 「습니다」がついた形。
	<u>예, 춥지 않았습니까.</u> [예, 춥찌 아나썸니다.] <small>はい 寒くなかったです</small>		
2	<u>김치는 먹지 못했습니까?</u> [김치는 먹찌 모태썸니까?] <small>キムチ は 食べられませんでしたか</small>	「않았습니다」は、 基本形「않다」 (～ない・しない) の第Ⅲ活用「않아」に 過去のオプション 「Ⅲ-ㅁ-」がつき、 その後に 「습니다」がついた形。	「못했습니다」は、 基本形「못하다」 (～できない) の第Ⅲ活用「못해」に 過去のオプション 「Ⅲ-ㅁ-」がつき、 その後に 「습니다」がついた形。
	<u>예, 먹지 못했습니다.</u> [예, 먹찌 모태썸니다.] <small>はい 食べられませんでした</small>		
大切なところ ([]の中は発音)			
<I-지 않았습니까 : ~なかったです・しませんでした> <I-지 않았습니까 : ~なかったですか・しませんでしたか>			
오다	→ 第I活用は「오」	오지 않았습니까. [오지 아나썸니다.]	来ませんでした。
		오지 않았습니까? [오지 아나썸니까?]	来ませんでしたか。
좋다	→ 第I活用は「좋」	좋지 않았습니까. [조치 아나썸니다.]	よくなかったです。
		좋지 않았습니까? [조치 아나썸니까?]	よくなかったですか。
<I-지 못했습니다 : ~できませんでした> <I-지 못했습니다 : ~できませんでしたか>			
걷다	→ 第I活用は「걷」	걸지 못했습니다. [걸찌 모태썸니다.]	歩けませんでした。
		걸지 못했습니다? [걸찌 모태썸니까?]	歩けませんでしたか。
열다	→ 第I活用は「열/여」	열지 못했습니다. [열지 모태썸니다.]	開けられませんでした。
		열지 못했습니다? [열지 모태썸니까?]	開けられませんでしたか。

第5章 基本表現

5-5. <Ⅲ-ㄷ어요 : ~たです・ました／~たですか・ましたか>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	국밥을 먹었어요? [국빠블 머거썬요?] クツパ を 食べましたか
	예, 먹었어요. [예, 머거썬요.] はい 食べました
2	어디에 갔어요? [어디에 가썬요?] どこ に 行きましたか
	일본에 갔어요. [일보네 가썬요.] 日本 に 行きました

大切なところ ([]の中は発音)

<Ⅲ-ㄷ어요 : ~たです・ました／~たですか・ましたか>

받다 → 第Ⅲ活用は「받아」	받았어요.	[바다썬요.]	受けました。
	받았어요?	[바다썬요?]	受けましたか。
좋다 → 第Ⅲ活用は「좋아」	좋았어요.	[조아썬요.]	よかったです。
	좋았어요?	[조아썬요?]	よかったですか。
멀다 → 第Ⅲ活用は「멀어」	멀었어요.	[머러썬요.]	遠かったです。
	멀었어요?	[머러썬요?]	遠かったですか。
마시다 → 第Ⅲ活用は「마셔」	마셨어요.	[마셔썬요.]	飲みました。
	마셨어요?	[마셔썬요?]	飲みましたか。
하다 → 第Ⅲ活用は「해」	했어요.	[해썬요.]	しました。
	했어요?	[해썬요?]	しましたか。

「ㄷ어요」は、過去のオプション「Ⅲ-ㄷ-」の第Ⅲ活用「ㄷ어」に「요」がついた形。

第5章 基本表現

5-6. <~なかったです・しませんでした> <~できませんでした> (해요体)

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	<u>춥지 않았어요?</u> [춥찌 아나쎬요?] 寒くなかったですか <u>예, 춥지 않았어요.</u> [예, 춥찌 아나쎬요.] はい 寒くなかったです
	<u>김치는 먹지 못했어요?</u> [김치는 먹찌 모태쎬요?] キムチ は 食べられませんでしたか <u>예, 먹지 못했어요.</u> [예, 먹찌 모태쎬요.] はい 食べられませんでした

「않았어요」は、基本形「않다」(～ない・しない)の第Ⅲ活用「않아」に過去のオプション「Ⅲ-ㅁ-」の第Ⅲ活用「ㅁ어」がつき、その後に「요」がついた形。

「못했어요」は、基本形「못하다」(～できない)の第Ⅲ活用「못해」に過去のオプション「Ⅲ-ㅁ-」の第Ⅲ活用「ㅁ어」がつき、その後に「요」がついた形。

大切 なところ ([]の中は発音)

<I-지 않았어요 : ~なかったです・しませんでした / ~なかったですか・しませんでしたか>

오다 → 第Ⅰ活用は「오」	오지 않았어요.	[오지 아나쎬요.]	来ませんでした。
	오지 않았어요?	[오지 아나쎬요?]	来ませんでしたか。
좋다 → 第Ⅰ活用は「좋」	좋지 않았어요.	[조치 아나쎬요.]	よくなかったです。
	좋지 않았어요?	[조치 아나쎬요?]	よくなかったですか。

<I-지 못했어요 : ~できませんでした / ~できませんでしたか>

걷다 → 第Ⅰ活用は「걷」	걸지 못했어요.	[걸찌 모태쎬요.]	歩けませんでした。
	걸지 못했어요?	[걸찌 모태쎬요?]	歩けませんでしたか。
열다 → 第Ⅰ活用は「열 / 여」	열지 못했어요.	[열찌 모태쎬요.]	開けられませんでした。
	열지 못했어요?	[열찌 모태쎬요?]	開けられませんでしたか。

第5章 基本表現
5-7. <用言の連体形>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	공부하는 시간이 있어요? [공부하는 시가니 이썬요?] 勉強する 時間 が ありますか
2	어제 읽은 책입니다. [어제 일근 채깁니다.] 昨日 讀んだ 本 です
3	청평에 갈 예정이에요. [청평에 갈 예정이에요.] 淸平 に 行く 予定 です
4	맛이 있는 것을 먹었어요. [마시 인는 거슬 머거썬요.] おいしい もの を 食べました
5	한없는 사랑을 받았습니다. [하넘는 사랑을 바단썬니다.] 限りない 愛 を 受けました
6	예쁜 꽃이 보입니다. [예쁜 꼬치 보입니다.] きれいな 花 が 見えます
7	너무 기쁘던 것 같습니다. [너무 기쁘던 건 가썬니다.] とても うれしかった ようです
8	내일은 추울 거예요. [내이른 추울 께예요.] 明日 は 寒いでしょう
9	한국의 수도인 서울에서 대회가 있어요. [한구게 수도인 서우레서 대회가 이썬요.] 韓国 の 首都 である ソウル で 大会 が あります
10	회원이 아닌 사람도 참가해요. [회워니 아닌 사람도 참가해요.] 会員 ではない 人 も 参加します

第5章 基本表現
5-7. <用言の連体形>

大切なところ ([] の中は発音)

	現在連体形	過去連体形	未来連体形
動詞 (받다 受ける)	I - 는 ~する~ (받는 [반는] 受ける~)	II - ㅆ ~した~ (받은 [바든] 受けた~)	II - ㄹ ~するだろう~ (받을 [바들] 受けるだろう~)
存在詞 (재미있다 面白い)	I - 는 ~ある・ない~ (재미있는 [재미인는] 面白い~)	I - 던 ~あった・なかった~ (재미있던面白かった~)	II - ㄹ ~あるだろう・ないだろう~ (재미있을面白ิดろう~)
形容詞 (좋다 よい)	II - ㅆ ~い~ (좋은 [조은] よい~)	I - 던 ~だった~ (좋던 [조던] よかった~)	II - ㄹ ~だろう~ (좋을 [조을] よいだろう~)
指定詞 (이다 ~である)	II - ㅆ ~である・でない~ (인 [인] ~である~)	I - 던 ~であった・でなかった~ (이던 ~であった~)	II - ㄹ ~であるだろう・でないだろう~ (일 [일] ~であるだろう~)

第5章 基本表現
5-7. <用言の連体形>

大切なところ ([]の中は発音)

	否定形の 現在連体形	否定形の 過去連体形	否定形の 未来連体形
動詞 (받다 受ける)	I -지 않는 ~しない~ (받지 않는 受けない~)	I -지 않은 ~しなかった~ (받지 않은 受けなかった~)	I -지 않을 ~しないだろう~ (받지 않을 受け내지 않을~)
形容詞 (좋다 よい)	I -지 않은 ~ない~ (좋지 않은 よくない~)	I -지 않던 ~なかった~ (좋지 않던 よくなかった~)	I -지 않을 ~ないだろう~ (좋지 않을 よくないだろう~)

	不可能形の 現在連体形	不可能形の 過去連体形	不可能形の 未来連体形
動詞 (받다 受ける)	I -지 못하는 ~できない~ (받지 못하는 受けられない~)	I -지 못한 ~できなかつた~ (받지 못한 受けられなかつた~)	I -지 못할 ~できないだろう~ (받지 못할 受けられないだろう~)

第5章 基本表現
5-7. <用言の連体形>

大切なところ ([]の中は発音)			
	過去推量の 未来連体形	過去推量否定形の 未来連体形	
全ての品詞 (받다 受ける)	Ⅲ - ㅁ을 ~したろう・だっただろう~ (받았을 受けただろ~)	I - 지 않았을 ~(し)なかつたろう~ (받지 않았을 受けなかつたろ~)	
	過去の持続を表す 過去連体形	回想過去連体形	
動詞 (받다 受ける)	I - ㄷㄹ ~していた~ (받던 [받편] 受けていた~)	Ⅲ - ㅁ던 ~した~ (받았던 [바달편] 受けた~)	
形容詞・ 存在詞・ 指定詞 (예쁘다 きれい)		Ⅲ - ㅁ던 ~だった~ (예뻤던 [예뻬편] きれいだった~)	

第5章 基本表現

5-7. <用言の連体形>

※Ⅰ:用言の第Ⅰ活用。Ⅱ:用言の第Ⅱ活用。Ⅲ:用言の第Ⅲ活用。

用言	品詞	連体形の種類	連体形の形式	連体形の具体例
하다 (する)	動詞	現在連体形	Ⅰ-는 (~する~)	오늘 하는 것 (今日すること)
				오늘 하는 것 같습니다 (今日するそうです)
하다 (する)	動詞	過去連体形	Ⅱ-ㄴ (~した~)	어제 한 것 (昨日したこと)
				어제 한 것 같습니다 (昨日したそうです)
하다 (する)	動詞	未来連体形	Ⅱ-ㄹ (~するだろう~)	내일 할 것 (明日するだろうこと)
				내일 할 것입니다 (明日するでしょう)
				내일 할 것 같습니다 (明日するそうです)
하다 (する)	動詞	否定形の現在連体形	Ⅰ-지 않는 (~しない~)	오늘 하지 않는 것 (今日しないこと)
하다 (する)	動詞	否定形の過去連体形	Ⅰ-지 않은 (~しなかった~)	어제 하지 않은 것 (昨日しなかったこと)
하다 (する)	動詞	否定形の未来連体形	Ⅰ-지 않을 (~しないだろう~)	내일 하지 않을 것 (明日しないだろうこと)
하다 (する)	動詞	不可能形の現在連体形	Ⅰ-지 못하는 (~できない~)	오늘 하지 못하는 것 (今日できないこと)
하다 (する)	動詞	不可能形の過去連体形	Ⅰ-지 못한 (~できなかった~)	어제 하지 못한 것 (昨日できなかったこと)
하다 (する)	動詞	不可能形の未来連体形	Ⅰ-지 못할 (~できないだろう~)	내일 하지 못할 것 (明日できないだろうこと)
하다 (する)	動詞	過去推量の未来連体形	Ⅲ-ㄴ을 (~しただろう~)	어제 했을 것 (昨日しただろうこと)
하다 (する)	動詞	過去推量否定形の未来連体形	Ⅰ-지 않았을 (~しなかっただろう~)	어제 하지 않았을 것 (昨日しなかっただろうこと)
하다 (する)	動詞	過去の持続を表す過去連体形	Ⅰ-던 (~していた~)	어제 하던 것 (昨日していたこと)
하다 (する)	動詞	回想過去連体形	Ⅲ-ㄴ던 (~した~)	어제 했던 것 (昨日したこと)
좋다 (よい)	形容詞	現在連体形	Ⅱ-ㄴ (~い~)	오늘 좋은 것 (今日よいこと)
좋다 (よい)	形容詞	過去連体形	Ⅰ-던 (~だった~)	어제 좋던 것 (昨日よかったこと)
좋다 (よい)	形容詞	未来連体形	Ⅱ-ㄹ (~だろう~)	내일 좋을 것 (明日よいだろうこと)
좋다 (よい)	形容詞	否定形の現在連体形	Ⅰ-지 않은 (~ない~)	오늘 좋지 않은 것 (今日よくないこと)
좋다 (よい)	形容詞	否定形の過去連体形	Ⅰ-지 않던 (~なかった~)	어제 좋지 않던 것 (昨日よくなかったこと)
좋다 (よい)	形容詞	否定形の未来連体形	Ⅰ-지 않을 (~ないだろう~)	내일 좋지 않을 것 (明日よくないだろうこと)
좋다 (よい)	形容詞	過去推量の未来連体形	Ⅲ-ㄴ을 (~だっただろう~)	어제 좋았을 것 (昨日よかっただろうこと)
좋다 (よい)	形容詞	過去推量否定形の未来連体形	Ⅰ-지 않았을 (~なかっただろう~)	어제 좋지 않았을 것 (昨日よくなかっただろうこと)
좋다 (よい)	形容詞	回想過去連体形	Ⅲ-ㄴ던 (~だった~)	어제 좋았던 것 (昨日よかったこと)
이다 (~である)	指定詞	現在連体形	Ⅱ-ㄴ (~である~)	지적인 사람 (知的である人)
이다 (~である)	指定詞	過去連体形	Ⅰ-던 (~であった~)	지적이던 사람 (知的であった人)
이다 (~である)	指定詞	未来連体形	Ⅱ-ㄹ (~であるだろう~)	지적일 사람 (知的であるだろう人)
이다 (~である)	指定詞	過去推量の未来連体形	Ⅲ-ㄴ을 (~だっただろう~)	지적이었을 사람 (知的だっただろう人) ※子音語幹+이다
				선수였을 사람 (選手だっただろう人) ※母音語幹+이다
이다 (~である)	指定詞	回想過去連体形	Ⅲ-ㄴ던 (~だった~)	지적이었던 사람 (知的だった人) ※子音語幹+이다
				선수였던 사람 (選手だった人) ※母音語幹+이다

第5章 基本表現

5-7. <用言の連体形>

※Ⅰ:用言の第Ⅰ活用。Ⅱ:用言の第Ⅱ活用。Ⅲ:用言の第Ⅲ活用。

用言	品詞	連体形の種類	連体形の形式	連体形の具体例
있다 (ある)	存在詞	現在連体形	Ⅰ-는 (~ある~)	재미있는 책 (面白い本)
있었다 (ある)	存在詞	過去連体形	Ⅰ-던 (~あった~)	재미있던 책 (面白かった本)
있겠다 (ある)	存在詞	未来連体形	Ⅱ-ㄴ (~あるだろう~)	재미있을 책 (面白いだろう本)
있었다 (ある)	存在詞	過去推量の未来連体形	Ⅲ-ㄴ을 (~あつただろう~)	재미있었을 책 (面白かつただろう本)
있었다 (ある)	存在詞	回想過去連体形	Ⅲ-ㄴ던 (~あつた~)	재미있었던 책 (面白かつた本)
없다 (ない)	存在詞	現在連体形	Ⅰ-는 (~ない~)	한없는 은사 (限りない恩賜)

第5章 基本表現
5-8. <尊敬形>

大 切 な と こ ろ (尊敬のオプション:「Ⅱ-시-」)			
<합니다体>	基本形: 가다 (行く)	基本形: 받다 (受ける)	基本形: 만들다 (作る)
Ⅱ-십니다. ~されます	<u>청평에 가십니다.</u> 清平 に 行かれます	<u>축복을 받으십니다.</u> 祝福 を 受けられます	<u>노래를 만드십니다.</u> 歌 を 作られます
Ⅱ-십니까? ~されますか	<u>청평에 가십니까?</u> 清平 に 行かれますか	<u>축복을 받으십니까?</u> 祝福 を 受けられますか	<u>노래를 만드십니까?</u> 歌 を 作られますか
Ⅱ-셨습니다. ~されました	<u>청평에 가셨습니다.</u> 清平 に 行かれました	<u>축복을 받으셨습니다.</u> 祝福 を 受けられました	<u>노래를 만드셨습니다.</u> 歌 を 作られました
Ⅱ-셨습니까? ~されましたか	<u>청평에 가셨습니까?</u> 清平 に 行かれましたか	<u>축복을 받으셨습니까?</u> 祝福 を 受けられましたか	<u>노래를 만드셨습니까?</u> 歌 を 作られましたか
Ⅱ-십시오. ~してください	<u>청평에 가십시오.</u> 清平 に 行ってください	<u>축복을 받으십시오.</u> 祝福 を 受けてください	<u>노래를 만드십시오.</u> 歌 を 作ってください
<해요体>			
Ⅱ-세요. ~されます	<u>청평에 가세요.</u> 清平 に 行かれます	<u>축복을 받으세요.</u> 祝福 を 受けられます	<u>노래를 만드세요.</u> 歌 を 作られます
Ⅱ-세요? ~されますか	<u>청평에 가세요?</u> 清平 に 行かれますか	<u>축복을 받으세요?</u> 祝福 を 受けられますか	<u>노래를 만드세요?</u> 歌 を 作られますか
Ⅱ-셨어요. ~されました	<u>청평에 가셨어요.</u> 清平 に 行かれました	<u>축복을 받으셨어요.</u> 祝福 を 受けられました	<u>노래를 만드셨어요.</u> 歌 を 作られました
Ⅱ-셨어요? ~されましたか	<u>청평에 가셨어요?</u> 清平 に 行かれましたか	<u>축복을 받으셨어요?</u> 祝福 を 受けられましたか	<u>노래를 만드셨어요?</u> 歌 を 作られましたか
Ⅱ-세요. ~してください	<u>청평에 가세요.</u> 清平 に 行ってください	<u>축복을 받으세요.</u> 祝福 を 受けてください	<u>노래를 만드세요.</u> 歌 を 作ってください

第5章 基本表現

5-9. <I-ㄹ- : 意志オプション>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	마지막까지 하겠어요? [마지막까지 하게써요?] ※意志 最後 まで しますか
	예, 열심히 하겠습니다. [예, 열씨미 하겠습니다.] ※意志 はい 一生懸命 します
2	선생님은 벌써 한국에 도착하셨습니까? [선생니믄 벌써 한구게 도차카셴씀니까?] 先生 は すでに 韓国 に 到着されましたか
	아마 도착하셨겠습니다. [아마 도차카셴겠습니다.] ※推量 たぶん 到着されたでしょう

大切なところ ([]の中は発音)

<I-ㄹ- : 意志オプション>

● 意志

하다 → 第I活用は「하」	하겠어요.	[하게써요.]	します。(するつもりです。)
	하겠어요?	[하게써요?]	しますか。(するつもりですか。)
	하겠습니다.	[하겠습니다.]	します。(するつもりです。)
	하겠습니까?	[하겠습니까?]	しますか。(するつもりですか。)

● 推量

있다 → 第I活用は「있」	있겠습니다.	[인겠습니다.]	あります。(あるでしょう。)
---------------	--------	----------	----------------

● 婉曲、控え目な気持ち

※会話(挨拶や目上の人に対する受け答えなど)でよく使用される。

잘 알겠습니다.	[잘 알겠습니다.]	よく分かりました。かしこまりました。承知いたしました。
잘 모르겠습니다.	[잘 모르겠습니다.]	よく分かりません。
처음 뵈겠습니다.	[처음 뵈겠습니다.]	初めてお目にかかります。
길 좀 묻겠습니다.	[길 좀 묻겠습니다.]	少々道をお尋ねします。

5-10. <한다体>

番号	例 文 ([]の中は発音)
1	<u>아침 일찍 일어난다.</u> [아침 일찍 이리난다.] 朝 早く 起きる
2	<u>아침밥은 꼭 먹는다.</u> [아침바븐 꼭 명는다.] 朝ごはん は 必ず 食べる
3	<u>나는 살아 있다.</u> [나는 사라 일따.] 私 は 生きて いる
4	<u>오늘은 아침부터 몹시 덥다.</u> [오느른 아침부터 몹씨 덥따.] 今日 は 朝 から ひどく 暑い
5	<u>마음이 깨끗한 사람이다.</u> [마으미 깨끗탄 사라미다.] 心 が 清らかな 人だ
6	<u>절대로 포기하지 않는다.</u> [절때로 포기하지 안는다.] 絶対に あきらめない
7	<u>그 싸움에는 지고 싶지 않다.</u> [그 싸우메는 지고 십씨 안타.] その 戦い に は 負けたくない
8	<u>왜 사느냐? 목적은 무엇이냐?</u> [왜 사느냐? 목찌근 무어시냐?] なぜ 生きるか 目的 は 何か
9	<u>그 사람이 이겼다고 합니다.</u> [그 사라미 이결따고 합니다.] その 人 が 勝ったそうです
10	<u>그 사람이 이겼다는 것을 지금 알았다.</u> [그 사라미 이결따는 거슬 지금 아랴따.] その 人 が 勝ったという こと を 今 知った

5-10. <한다体>

大切なところ ([]の中は発音)

	現在肯定形 (母音語幹・ㄷ語幹)	現在肯定形 (子音語幹)	現在否定形
動詞 (하다 する) (받다 受ける)	Ⅱ - ㄷ다 ~する (한다 [한다] する) -	I - ㄴ다 ~する - (받는다 [받는다] 受ける)	I - 지 않다 ~しない (하지 않는다 しない) (받지 않는다 受けない)
存在詞 (재미있다 面白い)		I - 다 ~ある・ない (재미있다 [재미있다] 面白い)	
形容詞 (좋다 よい)	I - 다 ~い・だ (좋다 [조타] よい)		I - 지 않다 ~ない (좋지 않다 よくない)
指定詞 (이다 ~である)	I - 다 ~である・でない (이다 [이다] ~である)		

5-10. <한다体>

大切なところ ([]の中は発音)

大切なところ ([]の中は発音)			
	現在疑問形	現在疑問形 (I-느냐・II-냐よりくだけた表現で親しい相手に向かって気楽に尋ねるときに用いる)	過去肯定形
動詞・ 存在詞 (받다 受ける)	I-느냐 ~するか (받느냐 [반느냐] 受けるか)	I-니 ~するの (받니 [반니] 受けるの)	III-쓰다 ~した (받았다 [바달따] 受けた)
形容詞・ 指定詞 (좋다 よい)	II-냐 ~か (좋으냐 [조으냐] よいか)	II-니 (指定詞はI-니) ~なの (좋으니 [조으니] よいの)	III-쓰다 ~かった (좋았다 [조알따] よかった)
	勧誘形	命令形	命令形 (文語体)
動詞・ 存在詞・ 形容詞 (받다 受ける) (행복하다 幸せだ)	I-자 ~しよう (받자 [받짜] 受けよう) (행복하자 [행보카자] 幸せでいよう)	III-라 ~せよ (받아라 [바다라] 受けよ) (행복해라 [행보캐라] 幸せになれ)	II-라 ~せよ (받으라 [바드라] 受けよ) (행복하라 [행보카라] 幸せになれ)

第6章 用語集

※並び順:五十音順、ハングル字母順。

用語	読み方	意味
意志語幹	いしごかん	意志オプション(Ⅰ-烈-)で終わっている語幹。보았다(見る)の語幹「보았」は意志語幹。
陰母音	いんぼいん	陽母音(「ㅏ」「ㅑ」「ㅓ」「ㅕ」)以外の母音。
オプション	おぶしょん	語幹と語尾の間に入って、いろいろな意味を付け加える言葉。 オプションは、例えば、尊敬オプションの場合、「Ⅱ-시-」(第Ⅱ活用に付く시)のような形式で表す。
過去語幹	かこごかん	過去オプション(Ⅲ-ㅁ-)で終わっている語幹。보았다(見た)の語幹「보았」は過去語幹。
活用形	かつようけい	語幹が変化した形。天一国語の用言には活用形が3種類(第Ⅰ活用、第Ⅱ活用、第Ⅲ活用)ある。 なお、「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」は、それぞれ、ローマ数字の1(いち)、2(に)、3(さん)である。 また、活用形は、例えば、받다(受ける)の第Ⅲ活用「받아」の場合、「받다ㅁ받아」(받다の第Ⅲ活用の받아)のような形式で表す。
基本形	きほんけい	用言の基本的な形(辞書に載っている形)。全ての用言の基本形は「다」で終わる。
語幹	ごかん	基本形から最後の「다」を取り除いた残りの部分。보다(見る)であれば、「보」が語幹。
語尾	ごび	語幹やオプションの後ろに付いて、いろいろな表現をつくる部分。語尾は変化しない。 語尾は、どの種類の活用に付くか決まっている。語尾「면(～ならば)」は必ず第Ⅱ活用に付く。 語尾は、例えば、「면(～ならば)」の場合、「Ⅱ-면」(第Ⅱ活用に付く면)のような形式で表す。
語尾表現	ごびひょうげん	用言、オプション、熟語、語尾を組み合わせた表現。
子音語幹	しいんごかん	子音で終わっている語幹(パッチムで終わっている語幹)。받다(受ける)の語幹「받」は子音語幹。
熟語	じゆくご	「～したい(Ⅰ-고 싶다)」というような慣用表現。
正格活用	せいかくかつよう	規則的な変化をする活用。天一国語の用言の4分の3は正格活用である。
尊敬語幹	そんけいごかん	尊敬オプション(Ⅱ-시-)で終わっている語幹。보시다(見られる)の語幹「보시」は尊敬語幹。
文体	ぶんたい	現代では、합니다体、해요体、해体、한다体がよく使用される。 합니다体は、主に、フォーマルな場面でよく使用される。해요体は、日常会話でよく使用される。 해体は、해요体の「요」を取り除いた形であり、話し言葉として使用され、一般的に友達や年下の人に対して使用される。 한다体は、最も丁寧さの度合いが低く、話し言葉ではかなり親しい間柄で使用され、書き言葉では新聞記事や作文などで使用される。 ・目下から目上へ使用可能な文体: 합니다体、해요体、해体(間柄や状況、話し手、聞き手の考え方によっては目上にも使える)。 ・同輩同士、友達同士で使用可能な文体: 해体、한다体。 ・目上から目下へ使用可能な文体: 해体、한다体。
変格活用	へんかくかつよう	不規則な変化をする活用。変格活用には、いくつかの種類(ㄹ変格活用など)がある。
母音語幹	ぼいんごかん	母音で終わっている語幹(パッチムで終わっていない語幹)。보다(見る)の語幹「보」は母音語幹。
用言	ようげん	人や物などの動作や状態を表す言葉。用言には以下の4種類がある。 ①動詞: 「～する」という意味を表す言葉。例) 보다=見る, 가다=行く。 ②形容詞: 「～い」「～だ」という意味を表す言葉。例) 멀다=遠い, 조용하다=静かだ。 ③存在詞: 「ある・いる」「ない・いない」の意味を表す言葉。例) 있다=ある・いる。 ④指定詞: 「～である」「～でない」の意味を表す言葉。例) 이다=～である。
用言の連体形	ようげんのれんたいけい	用言が後続の体言(名詞など)を修飾(説明)する形。
陽母音	ようぼいん	「ㅏ」「ㅑ」「ㅓ」「ㅕ」。
ㄷ語幹	リウルごかん	ㄷパッチムで終わっている語幹。멀다(遠い)の語幹「멀」はㄷ語幹。
하다用言	ハダようげん	하다で終わる用言。하다用言には、하다動詞と하다形容詞がある。 하다動詞の例: 요리하다=料理する。하다形容詞の例: 조용하다=静かだ。

天一国語は、未だ、発展途上の言語だと思っております。
文法用語、一つをとってみても、様々な方々が、いろいろな説明をしていらっしゃる状態です。
例えば、陽母音と陰母音について言えば、「陽母音はト・ㇿ。陰母音は陽母音以外。」という説をはじめとして、
実にバラエティーに富んでいます。（この文書では、陽母音と陰母音については、この文書における、
用言の活用の説明に支障が出ない程度に妥協させていただきました。）

これからも、天一国語は、天の父母様、真の父母様を中心として、整理され、もっと素晴らしいものになると、
私は確信しております。

機会があれば、天一国語を天一国語で学習されることをお勧めします。日本語で学習するには限界があります。
できれば、真の父母様から直接学ぶことができればいいのですが …。

不足ながら、この文書を、感謝と孝情の心で、天の父母様、真の父母様をはじめ、全ての方々にお捧げいたします。

有馬重信